【 別冊 】

令和７年度
社会福祉法人和泉市社会福祉協議会
事業報告書及び一般会計決算書



マスコットキャラクター
「スマイルすいちゃん」



テーマ　「笑顔が可愛い水仙の妖精」

☆スマイルすいちゃんの特徴☆

性　　格：みんなにやさしい
　　困っている人をほっとけない
好きなもの：和泉市、みんなの笑顔
口　ぐ　せ：「～しましょうか？」
お　仕　事：幸せを運ぶ、花運び

令和７年度事業報告

【事業概要】

令和７年度は、急速なＡＩ（人工知能）技術の進展や生活スタイルの多様化など、社会情勢が大きな転換期を迎える中での事業運営となりました。あわせて、昨今の情勢により物価が上昇するとともに、最低賃金をはじめとした人件費も上昇を続けており、福祉経営を取り巻く環境は大きな課題に直面しています。同時に、少子高齢化の更なる進展は、地域における担い手不足のみならず、本会における専門職員の確保という面でも極めて深刻な課題となった一年でした。

この様な状況下において、本会はこれまで培ってきた経験と実績を基盤に、「地域支援事業」と「個別支援事業」を両翼とする総合支援型社会福祉協議会として、複雑化する地域ニーズに即した取り組みを行っております。様々な背景で推進した、和泉市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）の活動について主な事業ごとに報告いたします。

地域包括支援センターでは、支援を必要とする高齢者、特に認知症やその家族を地域で支える体制としてチームオレンジの結成や専門職による初期集中支援などの取り組みを充実させ、認知症地域支援推進員を中心に個別支援等を実践いたしました。

居宅介護支援事業では、介護給付１人35件・予防給付１人6～7件をベースにプラン作成件数は一定を維持しつつ、ケアマネジャーの人員確保にも注力しています。また毎月事業所内勉強会を開催することや、他の法人とも研修会を開催することで、ケアマネジメントの質を高めることにも尽力しています。また、要介護認定調査事業では、ひと月に350件ほどの調査依頼があるため、新規を中心に効率化と正確性を意識しながら対応にあたっています。

ホームヘルプ事業では、入所や逝去による利用者減少が続き、収益において厳しい影響が発生しております。この状況を打開すべく、いただくご依頼は断わらず、内部調整を図りながら、１ケースでも多い新規利用者の獲得に努めました。なお、次年度においても改善対策は継続し収益の回復を目指します。また、サービス提供の資質向上に向けた毎月の研修実施、介護に携わる職員の離職防止に向けた体制整備として、処遇改善金を活用し賃金アップとその維持に努めました。

成年後見中核機関運営事業では、市民・親族後見人等の支援窓口機関として、事業開始１年半が経過する中で、成年後見制度に関する市民の理解や活用促進に向けた関係機関との連携強化、研修会の開催、市民後見人の養成とサポートに力を入れました。

総合福祉会館では、本会の自主事業である「しゃきょう元気隊」の活動が４年目を迎えました。「しゃきょう元気隊」は、会館の貸館団体の方や年輪大学院卒業生で作ったグループが、地域のサロンや福祉施設からの依頼に応じ活動しています。令和７年度も、紙芝居や歌、手品、楽器演奏、カーレット等、多様なジャンルの特技をイベント等で披露し、皆さんに大変喜んでいただくことができました。

北部総合福祉会館では、人気のある「健康美容講座」を総合福祉会館と連動性を持たせ実施し、北部総合福祉会館実施分を入門編として展開することで、より多くの市民の方が両会館を利用できるように工夫しました。また、これまでは参加者が少なかった、健康体操講座や高齢ヨガ講座などの運動系講座に加え、書道講座や音頭講座など文化系講座への男性の参加もみられました。今後も市民の方に気軽に参加していただける講座開催を継続してまいります。

令和７年度の事業計画において、重点項目に★マーク・下線・説明を入れていました。
今回の報告では、★マークを入れた事業について詳しく報告を行っています。

【事　　業】

［1］法人運営

（1）理事会／評議員会の開催

1.理事会

開催日	開催回	審議事項	
令和7年5月29日	第1回	議案第1号	評議員選任・解任委員会委員の一部選任について
		議案第2号	評議員選任候補者の推薦について
		議案第3号	令和6年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業報告書及び一般会計決算書の承認について
		議案第4号	令和7年度第1回社会福祉法人和泉市社会福祉協議会評議員会の開催について
令和7年6月19日	第2回	議案第1号	会長の互選について
		議案第2号	副会長の互選について
		報告第1号	会長の職務の執行状況について
令和8年3月12日	第3回	議案第1号	評議員選任候補者の一部推薦について
		議案第2号	令和8年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業計画及び一般会計予算書の承認について
		議案第3号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会会長の専決処分に関する規則の一部を改正する規則制定について
		議案第4号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会経理規則の一部を改正する規則制定について
		議案第5号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
		議案第6号	令和8年度役員等賠償責任保険について
		議案第7号	令和7年度第2回社会福祉法人和泉市社会福祉協議会評議員会の開催について
		議案第8号	令和8年度資金運用計画について
		報告第1号	資金運用状況の報告について
		報告第2号	会長の職務の執行状況について

2．評議員会

開催日	開催回	審議事項	
令和７年６月 19 日	第１回	議案第１号	理事の選任について
		議案第２号	監事の選任について
		議案第３号	令和６年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業報告書及び一般会計決算書の承認について
令和８年３月 24 日	第２回	議案第１号	令和８年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業計画及び一般会計予算書の承認について
		報告第１号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会会長の専決処分に関する規則の一部を改正する規則制定について
		報告第２号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会経理規則の一部を改正する規則制定について
		報告第３号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
		報告第４号	令和８年度役員等賠償責任保険契約について

3．評議員選任・解任委員会

開催日	開催回	審議事項	
令和７年６月４日	第１回	議案第１号	評議員の選任について
令和８年３月 23 日	第２回	議案第１号	評議員の一部選任について

（２）事業及び会計監査の実施

開催日	開催回	審議事項	
令和７年５月 20 日	第１回	議案第１号	令和６年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会の事業報告及び一般会計決算に関する監査について

（３）本会の専門性を総合的に活用した支援体制の構築

本会では、地域支援、高齢者支援及び障がい者支援等各分野において、相談支援やサービス支援をはじめ、あらゆる問題に対し包括的に適応できる総合支援型社会福祉協議会として各種事業を実施することにより、支援体制の構築に努めています。

（４）職員の資質向上のための育成研修の実施

令和６年度に続き、人事評価制度の一環として「成長支援シート」という自己評価シートを用い、所属分野の専門職としてだけではなく法人職員としての目標設定や達成度合いを 6 カ月ごとに評価しました。あわせて、社会人として、本会の職員の一員として基本的なスタンスや考え方等を学ぶ機会として、若手職員を対象に次世代人材育成研修を実施しました。

（5）安全衛生委員会の開催

労働安全衛生法及び労働安全衛生規則に基づき、労働者が 50 人以上いる事業所に必置となっている安全衛生委員会を産業医の指示・監修のもと毎月１回開催し、法人内で必要となる知識や技術をテーマとした研修会の実施や情報共有を図りました。

同時に、心理士によるカウンセリング体制も整備し、職員が気軽に相談できる場を設置しました。

［2］組織体制の強化と財源の確保

（1）地域支援事業と個別支援事業の連携および協働

本会は、地域支援と個別支援の両方を実施していることから、積極的に両事業の連携・協働に努めています。

（2）会員加入に向けたＰＲ、賛助会員ならびに組織構成会員の拡大

（住民会費）

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
世　帯　数	34,834 世帯	36,059 世帯	36,853 世帯

（賛助会員会費）

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
個　人　数	63 人	69 人	62 人
団　体　数	28 団体	24 団体	25 団体

（組織構成会員会費）

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
団　体　数	19 団体	17 団体	17 団体

（3）自主財源の確保（ホームページや広報紙への有料広告の掲載等）

１．自主財源の確保及び啓発活動

自主財源の確保と本会を広く市民に周知するため次の事業を行いました。

項　目	総 重 量	摘　要
プルトップ回収	82kg	自主財源として 8,446 円分に相当
エコキャップ回収	560kg	リサイクル資源募金として 2,800 円分に相当

２．有料広告の掲載

本会を広く市民に周知する目的で年 4 回発行している「社協いずみ」に広告を掲載するスペースを設け、有料広告の募集を行いました。

（４）健全な財政運営と経費の節減

善意銀行の運営

１．寄付の状況（通常寄付）　（単位：円）

収　入		支　出	
金銭寄付	605,432	児童養護施設退所者祝い金	120,000
受取利息	48,257	消耗品・事務費等	179,970
雑収入	24,001	次年度繰越金	377,720
合　計	677,690	合　計	677,690
物品寄付	食料品 （米、菓子、缶詰、ジュース等） 日用品 （雑巾、おむつ、歯ブラシ等）	物品活用	子ども食堂、生活困窮者レスキュー事業等に提供

２．寄付の状況（ウクライナ義援金）　（単位：円）

収入		支出	
前年度繰越金	6,344,229	次年度繰越金	6,344,229

※次年度繰越金については、日本赤十字社を通じ令和８年度以降の寄付を予定しています。

（５）介護保険法ならびに障害者総合支援法関連事業の安定的な運営

詳細は、「［９］高齢者支援事業」及び「［１０］　障がい者（児）支援事業」をご参照ください。

（６）市が推進する福祉施策の基幹的役割を担うための基盤強化

［５］「第５次地域福祉基本・活動計画の推進」にも記載のとおり、市と協働で計画の推進にあたった他、市が主催する福祉に関する各種会議・委員会への参画を行いました。

［３］社会福祉活動等の啓発及び推進

★（１）社会福祉のつどいの開催

詳細は、【８】校区社協活動の推進（１）をご参照ください。

★（２）赤い羽根共同募金運動・地域歳末たすけあい募金運動の推進

１．赤い羽根共同募金運動（運動期間：10月1日から12月31日まで）

【街頭募金】

理事、監事、評議員、校区社協会長、校区社協ボランティア代表、校区社協ボランティア、民生委員・児童委員の協力を得て、駅前（和泉府中駅、信太山駅、北信太駅、和泉中央駅）及びオークワ和泉中央店、葉菜の森、コープ和泉中央店、道の駅いずみ山愛の里、エコール・いずみ、スーパーセンターオークワ和泉納花店、ショップサンパール、オークワ和泉小田店、スーパー玉出信太山店、ＫＯＨＹＯ光明池店、サンドラッグ和泉観音寺店、スーパーサンエー光明池店、マツゲン光明池店、コノミヤ和泉府中店、イオン和泉府中店、デイリーカナート鶴山台店、プライスカット和泉鶴山台店において街頭募金を

行いました。

街頭募金実施日	協力者数
10月1日、2日、3日、6日	225人





【保育園児等による街頭募金】

さいわいこども園、すいせん保育園、いぶきのPreSchool、すいせん府中保育園、信太保育園、てらかど保育園、池上わかばこども園、クレアール保育園にご協力いただき、駅前（和泉府中駅、信太山駅）及びスーパー玉出信太山店、オークワ和泉小田店、エコール・いずみ、デイリーカナート鶴山台店、サンドラッグ和泉観音寺店において街頭募金を行いました。

街頭募金実施日	協力者数
10月14日、17日、30日、11月10日、11日、13日	288人

【募金実績】

※令和6年度募金実績に応じて配分された金額です。　（単位：円）

収　入		支　出		
科　目	金　額	科　目	金　額	備考
地域助成金（令和6年度分配分金）	2,755,136	高齢者・障がい者・児童向け福祉活動	1,888,838	各種スポーツ大会助成金、広報発行等
その他特別助成	1,143,269	ボランティア等福祉育成活動	2,009,567	校区社協ボランティア助成、研修会、イベント開催（昔あそびを楽しもう）、社会福祉のつどい、地域貢献連絡会　等
合　計	3,898,405	合　計	3,898,405	

種　別	令和７年度	令和６年度	令和５年度
戸別募金	3,699,638	4,158,070	4,420,200
法人募金	520,233	537,351	547,134
学校募金	283,516	269,338	204,673
街頭募金	600,675	438,540	496,954
バッジ募金	307,000	290,000	309,000
職域募金	0	0	0
その他	161,219	170,874	208,610
合　計	5,572,281	5,864,173	6,186,571

【配分金を活用した世代間交流イベントの開催】（昔あそびを楽しもう！）

和泉市老人クラブ連合会との共催イベント「昔あそびを楽しもう！」をエコール・いずみアムゼ広場で開催しました。子ども向けマジシャンを招き、竹ぽっくりや射的等昔ながらの遊びを多くの親子に楽しんでもらい、多世代の交流の場となりました。





２．地域歳末たすけあい運動（運動期間：12月１日から12月31日まで）

【募金実績】　（単位：円）

収　入		支　出		
科　目	金　額	科　目	金　額	備　考
義援金	1,646,824	ひとり暮らし誕生月プレゼント訪問	565,994	プレゼント代等
		ひとり暮らし高齢者の会支援	599,541	運営費･保険代
		地域福祉かがやき助成金配分	481,289	ボランティア団体等への活動費用の助成
合　計	1,646,824	合　計	1,646,824	
義援品	雑巾420枚 タワシ200個	義援品活用	児童・障がい者等の各施設へ配分 雑巾420枚、タワシ200個	

（3）地域福祉かがやき助成金事業の実施

市内で地域福祉活動の振興と市民の福祉向上を図ることを目的とした事業活動を行うボランティア団体等で、申請・審査を経て認定された団体に助成を行いました。

（募集団体数は5団体）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
交付数	7団体	5団体	6団体

《助成による活動内容》

○ 手toての会　“しゃきょう元気隊”活動に係る用具等の購入

○ ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体ゆーあい　“しゃきょう元気隊”活動に係る用具等の購入

○ ふれあいｷｬﾗﾊﾞﾝ　人形劇を通しての交流を目的としたイベント費用

○ まある食堂　子ども食堂立ち上げに係る経費

○ 子ども食堂のぞみ野　子ども食堂立ち上げに係る経費

○ 笑泉会　いきいきサロンや町単位での集まりなどへの出前奇席に係る費用

○ 水曜会　高齢化が進む地域での落語を通した交流イベント時の送迎支援に係る費用

［4］福祉情報の提供と事業活動のアピール

（1）社協広報誌等の発行

社協いずみの発行（年4回）

発行月	通算号数	主な内容
令和7年7月	第142号	おしゃべり広場について
令和7年10月	第143号	赤い羽根共同募金の周知啓発について
令和8年1月	第144号	小学校区ごとの“ふくしのまちづくり”活動のご報告について
令和8年4月	第145号	おたがいさまサポーター事業について

※令和8年4月号は、令和7年度事業として発行

（2）社協ホームページ等の活用

昨年度、ホームページのリニューアルを行いましたが、引き続き、見やすく、分かりやすく、新たな情報をお伝えできるよう、定期的に更新を行いました。

右に、本会のホームページの二次元コードを添付していますので、一度、アクセスしてみてください。

（3）路線バス車中広告の活用

南海バス光明池営業所の路線バスを対象に、ボランティア募集をお知らせする車中広告を掲載しました。

★（4）本会をＰＲするためのマスコットキャラクターの活用

マスコットキャラクター「スマイルすいちゃん」の着ぐるみを活用し、イベント等では子ども達に大変人気でした。また、缶バッジ及びクリアファイルについても、引き続き、本会をＰＲする為に使用しました。







★（5）「ココスル」～暮らしの情報応援サイト～の運営

和泉市内及びその近郊の障がい者の支援に関する相談支援や入・通所サービス等の開廃情報や、各施設の事業実施（内容）状況や利用に係る空き情報をできるだけ直近情報として提供するための運営に努めました。

市内の事業関係者、協力者のシステムに対する認知度が上がり、より機能性を上げて欲しいというニーズも挙がってきています。内容の更新を行い、最新情報を提供しつつ、機能性アップについても検証を行って参ります。

★［5］第5次地域福祉基本・活動計画（令和6年度～令和10年度）の推進

1．第5次地域福祉活動計画の実践

第5次地域福祉基本・活動計画

基本理念　『誰もが主人公！一人ひとりが輝けるまち和泉』

基本目標

① 包括的で身近な相談、支援の仕組みづくり

② 切れ目ない・こぼれない支援の仕組みづくり

③ 多様な主体どうしの連携による担い手・社会資源の拡充

④ 誰もが、自分らしく、安心して、楽しく暮らせるまちへ

⑤ 地域共生社会の実現に向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場

地域福祉基本計画と地域福祉活動計画を一体化し、取り組みの関係性を明確にしたうえで、本会と和泉市が協働して計画を推進しました。

また、校区別アクションプランについても、地域の実情に応じて校区社会福祉協議会（以下「校区社協」という。）を中心とする地域住民や関係団体との協議を推進しました。

施策内容（主なもの）	経　過
地域の課題を定期的に話し合える協議の場づくり	○『協議の場』の開催状況　：　20校区にて計47回開催 ・校区別アクションプランの進め方について ・地域住民相互の見守りについて ・子どもの居場所づくりについて ・防災・減災の取り組みについて等 ○協議の場実践活動補助金の交付 協議の場で議論された地域課題解決の為の住民活動に対し、11 校区に交付
地域情報の収集、共有、発信	○校区社協ＰＲ補助金の交付 校区社協が提供するサービスの利用促進及び地域住民のボランティア活動への参加促進を目的とした周知活動に対し、14校区に交付（うち10校区は広報誌を作成、3校区は活動着、1校区がのぼり旗を作成） ○バス補助金の交付 小地域ネットワーク活動の振興を図ることを目的とした活動に対し、13校区に交付（うち11校区は交流と親睦、2校区が防災センター）
福祉教育・市民学習の推進	○福祉教育の実施 ☆福祉教育への協力7校で実施（小学校5、桃山学院大学2） ◎ふくしきっかけ講座～ふくしってなんだろう？～ ◎ユニバーサルデザイン学習 ◎防災ゲーム ◎いきいきサロンでの交流 ◎年末の見守り訪問（高齢者対象）で活用する絵葉書作成 福祉学習を実施した１つの小学校が、学習の中で訪問した、いきいきサロンでの取材内容や、認知症キッズサポーター養成講座を受講した感想について、サロンボランティア等を招いて発表 ☆教職員と共に学ぶ2回 ◎教職員『冬期自主研修』の場を活用し、和泉市で実施する福祉学習全般の学習会を実施 ○年輪大学・年輪大学院における福祉プログラムの充実 講義「安心して暮らしやすいまちづくり」 講義「子どもの居場所づくり」 ○福祉教育実践に関わる職員の研鑽、資質向上を目的に研修会等への受講 ◎府社協主催「総合的な福祉教育実践研究会」4回シリーズ
総合的な相談支援体制の充実	○相談窓口の周知啓発 広報誌「社協いずみ」に記事掲載
進行管理と評価	○和泉市地域福祉推進協議会　1回開催 開催：令和7年11月 ○和泉市福祉でまちづくり委員会　1回開催 開催：令和8年1月

○和泉市校区別アクションプラン実践報告会の開催（令和８年３月４日）　　125人参加

松端克文氏（武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科教授）をコーディネーターに招き、防災の取り組みをテーマにした実践報告会を開催しました。会場内には校区単位のアクションプランの進捗状況のパネル展示、市社協の活動計画の進捗状況を映像等で共有しました。

また、報告内容としましては、本会職員からは『石川県珠洲市への視察から得た学び』、鶴山台南校区からは『防災フェスティバルの開催や避難所運営ゲームの実施等身近な防災の具体的な取り組み手法』、芦部校区から『みんなが参加できる防災訓練の開催と“まずやってみよう！”と行動することの大切さ』について報告いただきました。参加者からは、「他の校区の活動状況がよくわかり参考にしたい。」「議論だけでなく、まずやってみる！ことが大切なことが学べた。」という感想をいただけました。











［６］市内社会福祉施設等の地域貢献事業との連携

（１）ボランティア表彰の推薦

和泉市内に所在する社会福祉法人等で組織する和泉市社会福祉施設地域貢献連絡会の会員施設との連携として、ボランティア表彰の推薦に向け、検討を行いました。

（２）共同募金運動への協力

（１）と同じく、地域貢献連絡会の会員施設との連携として、共同募金運動への参加協力依頼を行いました。

★（３）和泉市社会福祉施設地域貢献連絡会の定期開催及び連絡会と協働した取り組みの検討

令和７年度は、地域貢献連絡会を２回開催しました。

○第１回目（令和７年７月15日）

３法人による地域貢献活動の報告。

これまで長年選任できていなかった役員について高齢、障がい、児童分野から１人ずつ決定しました。併せて、連絡会として協働による取り組みを進めていくことを確認し、今後の具体的な推進内容について検討していくことで合意しました。

○第２回目（令和８年２月３日）

本会職員による石川県珠洲市への視察報告から、各施設の防災力強化が有事の地域貢献に繋がることを共有。次年度以降は、地域貢献連絡会として防災力強化に向け協働して進めることが決まりました。

［７］地域福祉教育事業の実践

★（１）地域人材の発掘ならびにつながり作りの支援

【地域活動の担い手の確保や育成のための支援】

①「子ども食堂＆子どもの居場所づくりスタート応援講座」の開催

今年度も子どもの居場所づくりに興味がある方を対象とした担い手講座を４回シリーズで開催しました。受講者それぞれが子ども食堂を立ち上げる時などに協力し合えるよう、受講者同士が『知り合う』『想いを共有し合う』機会を多くとるよう工夫しました。

講座の様子







② シニア男性の地域活動担い手講座「おじーず珈琲倶楽部」の開催

コーヒーのおいしい入れ方とコミュニティカフェの運営方法を学ぶ担い手講座を５回シリーズで開催しました。某有名カフェの協力を得て本格的に技術を磨き、卒業後は定期的に和泉市立総合福祉会館でカフェを開催。

その際には、就労継続支援Ｂ型事業所にて作業をされている皆さんが、授産製品であるクッキー等を販売してくれています。

講座の様子





お試しカフェの様子

障がい就労継続支援B型事業所の
授産製品を販売



（2）青少年及び若年層に向けた福祉教育への啓発および支援

小学校向け福祉体験学習の実施や認知症機能強化型地域包括支援センターが開催する若年層向けの認知症サポーター養成講座への協力を行いました。

（3）大学との事業連携による次世代の地域福祉の担い手育成

“社会福祉のつどい”では、表彰対象となるボランティアへの記念品として、能登半島地震の被災地である石川県珠洲市の特産品「珠洲焼」のコップを選定しました。あわせて、桃山学院大学社会学部ソーシャルデザイン学科の講師や学生の皆さんにご協力いただき、記念品の梱包作業を実施しました。社会福祉のつどい当日にも学生がボランティアとして参加し、来場者対応などに携わってくれました。参加した学生からは、「ありがとうと言ってもらえてうれしかった」「ボランティア活動が楽しかった」「来年も参加したい」といった声が聞かれ、福祉や地域活動への関心を高めるきっかけとなりました。また、つどい終了後には、和泉ボランティア市民活動センター アイ・あいロビーの見学にもつながるなど、地域との新たな接点も生まれました。

『社協のおまつり』での
桃山学院大学学生さん
の活動様子



パステルアート体験の出店



社協ボランティアとの交流



石川県珠洲市への
義援金を呼びかける



（4）年輪大学・年輪大学院受講者へのボランティア体験支援と地域活動への参画支援

しゃきょう元気隊

令和4年度から、福祉会館をご利用の団体に「しゃきょう元気隊」として登録していただき、地域からの依頼があれば自分たちの特技を活かしてイベントなどで披露しています。

令和7年度は、多くのいきいきサロン、高齢者や障がい者施設、幼稚園、当事者の会等に定期的に訪問し、紙芝居や歌、手品、楽器演奏、カーレット等、多様なジャンルの特技を披露し、皆さんに大変喜んでいただき、元気隊の認知がさらに広まってきています。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
実施回数	63回	55回	32回
ボランティア派遣合計	305人	234人	99人
参加者数	1,466人	1,130人	332人

（５）認知症サポーター養成講座の定期的な開催

誰もが認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者を増やすことを目的に開催しました。

○総合福祉会館（参加者数 40 人）

○北部総合福祉会館（参加者数 8 人）

（６）あいサポーター養成講座等の定期的な開催

誰もが多様な障がいの特性、障がいのある人の困りごとを理解して、ちょっとした手助けや配慮を実践できるよう、障がいのある人が暮らしやすい地域社会（共生社会）をみんなでつくるための研修として開催しました。

○総合福祉会館（参加者数 15 人）

○北部総合福祉会館（参加者数 6 人）

（７）新たな知識やスキル獲得を目的にボランティア対象の研修会を実施

詳細は、「［８］校区社協活動の推進」をご参照ください。

（８）大阪府市町村社会福祉協議会連合会が実施する大学生向けオープンカンパニーの積極的な受け入れ

令和 7 年度は 4 人の大学生を受け入れ、5 日間で様々な活動を体験いただきました。

［８］校区社協活動の推進

★（１）“社会福祉のつどい”における校区社協活動の周知啓発

11 月 8 日に「第 32 回社会福祉のつどい」を和泉シティプラザにて開催しました。

第 1 部の“式典”では、日頃から社会福祉・地域福祉の推進にご尽力いただている方々へ“感謝の気持ち”とともに感謝状、表彰状の贈呈を行いました。

第 2 部の “社協のおまつり”では、校区社協ボランティアや市内関係団体の方々のご協力により、子どもの遊びコーナーや舞台発表、校区社協ボランティアの活動紹介パネル展示に加え、今年は能登半島地震の復興支援を兼ねた「珠洲焼」の展示販売や健康チェック、里親啓発コーナーなど多世代の方に、和泉市内の福祉活動について知っていただくきっかけとなりました。






感謝状贈呈　（単位：人）

内　容	令和７年度			令和６年度	令和５年度
協　助　者	3	個人	1	―	―
		企業	2		

表彰状贈呈　（単位：人）

内　容	令和７年度	令和６年度	令和５年度
退任心配ごと相談員	5	1	4
校区社協会長	0	1	1
校区社協ボランティア10年	85	36	69
校区社協ボランティア20年	22	39	73
校区社協ボランティア30年	1	5	13

（２）地域福祉活動の実施内容に関する検討および協議

ひとり暮らし高齢者の会食会への支援

ひとり暮らし高齢者のみならず和泉市の高齢者人口は増加傾向にあります。高齢者夫婦世帯、子ども家族と同居している高齢者、自分以外の誰かと暮らしていても孤独感を抱く高齢者は多くおられます。

そのため、現在支援している会食会への参加対象について見直しが必要と考え実態調査を行い、校区社協会長会やボランティア連絡会にて協議を進めています。

（３）小地域ネットワーク活動の充実

１．サロン活動の推進

内　容	サロン数 令和７年度	おもな活動内容	サロン数 令和６年度	サロン数 令和５年度
いきいきサロン	145か所	茶話会、健康体操、ゲーム、小物作り作品展　等	149か所	149か所
子育てサロン	11か所	リズム体操、絵本の読み聞かせ、工作等	11か所	11か所

※これまで１件のいきいきサロン活動補助金交付に対して複数の「いきいきサロン届」が提出されていたものを整理したため、件数が減少しています。なお、実質的に中止となったいきいきサロンは１か所です。

２．いきいき健康サロンの実施

各いきいきサロンを対象に、参加者の健康保持とプログラム充実のため看護師と健康運動指導士を派遣し、検尿・血圧測定や健康体操を実施しました。

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
実施校区数	16校区	16校区	15校区
回　数	64回	64回	63回

（4）校区社協の健全な組織運営と財政管理への支援

1．校区社協の活動

高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、児童・青少年支援等といった各分野での地域で発生する生活課題（福祉ニーズ）に対し、校区社協ボランティアを中心とした住民同士の相互協力によって解決していくための「校区社協」としての活動を支援しました。

2．校区社協ボランティア活動の実施

校区社協ボランティア登録者数（令和8年3月31日現在）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
登録者数	1,215人	1,193人	1,220人

（5）校区社協会長会議、校区社協ボランティア連絡会議の開催

1．校区社協会長会

項目	開催回数
校区社協会長会	6回
校区社協役員会	6回

各校区社協会長に集まっていただき、小地域ネットワーク活動の推進に係る検討や「ふれあい訪問」のあり方等に関する検討、各種地域活動等の情報提供や意見交換等を奇数月の第2金曜日に校区社協会長会を開催しました。

また、偶数月の第4金曜日には、校区社協会長役員5名により、会長会での案件について事前に協議・検討等を行う校区社協会長役員会を開催しました。

2．校区社協ボランティア連絡会・幹事会

項目	開催回数
校区社協ボランティア連絡会	6回
校区社協ボランティア幹事会	5回

各校区の校区社協ボランティア代表に集まっていただき、地域でのボランティア活動の促進と各種事業を円滑に図るための連絡調整や協議、情報共有等の場として、偶数月の第2金曜日に校区社協ボランティア連絡会を開催しました。

また、奇数月の第2金曜日には、校区社協ボランティア連絡会での案件について事前に協議・検討等の場として、ボランティア代表幹事5名による、校区社協ボランティア幹事会を開催しました。

（6）各校区社協、校区社協ボランティアの交流及び研修会の開催

1．校区社協ボランティア研修会・交流会

○“地域活動での個人情報の取扱い”（7月4日、7月23日、7月30日、8月5日）　155人参加

校区社協会長やボランティア、相談機関である地域包括支援センター職員やＣＳＷにも寸劇に出演いただき楽しくわかりやすく個人情報の取扱いについて解説しました。

また、交流会では、近隣校区のボランティア同士が情報交換や交流を深める機会になりました。研修会場を市内4か所に分散したことで例年に比べ出席率が高く良い結果となりました。



寸劇を交えて
楽しく研修







2．校区社協ボランティアスキルアップ研修会

○“地域で共に生きる”について考える「ともいき研修」（令和7年12月16日）　99人参加

本研修会では、厚生労働省作成の教材を活用し、地域共生社会について考え普段の活動での理解を深めることを目的にスキルアップ研修会を開催しました。



3．大阪府社会福祉協議会主催の小地域ネットワーク活動リーダー研修会への参加

開催日	テーマ	場　所	参加者数
令和8年1月29日	ともに描き、ともに動く 協働で進める小地域活動	大阪国際交流センター	9人

（7）いきいきサロン、子育てサロン運営に対する活動支援

子育てサロンへの活動支援

子育てサロン交流会を開催し、運営上の課題や活動に関する情報共有を行いました。子育てサロンは、体操の先生を派遣する事業の利用が少ないため、体験会を実施し活用を呼びかけました。



子育てサロン交流会の様子







（8）見守り声かけ等、安否確認に対する活動支援

1．地域でのつながり作りや見守り活動を目指した「みんなのカレンダー2026」の作製

“新たなネットワークの構築及び地域のつながりを更に深める”こと等を目的に、子どもから高齢者、障がいのある方、ボランティアの皆さんにイラストの提供を呼びかけたところ、温かい想いが込められたイラストが約275枚届きました。それらをもとに800部のカレンダーを制作し、校区社協ボランティアによる見守り訪問の対象となる方等にお届けしました。このカレンダーが人と人をつなぎ、笑顔を届ける大切なツールとなりました。このカレンダー制作には一部歳末助け合い募金の寄付金を活用しています。

2．楽しく学ぶ防災学習の取り組み

地域での自助力・共助力が向上することを目的に、地域住民や民生委員・児童委員を対象に防災クッキングを実施しました。今年度から食生活改善推進協議会の方にもご協力いただいています。

防災クッキングの様子



節水・節電の中、物資が少ない中でも美味しいご飯を食べるための調理方法を平時から実践することが大切！



（9）通学路のパトロールや挨拶運動、世代間交流など校区社協独自の活動支援

校区別アクションプランには、多くの校区が住民相互の見守りつながりの大切さ、世代間交流の実施を掲げていますので、目標の達成に向け校区担当者が中心に支援を行いました。

（10）地域福祉活動の活性化支援のための助成金の交付

詳細は、【3】社会福祉活動等の啓発及び推進（3）地域福祉かがやき助成金事業の実施をご参照下さい。

［9］高齢者支援事業

（1）基幹型地域包括支援センター事業

地域住民の保健、福祉、医療の増進を目的として設置されている市内全域の地域包括支援センターの機能充実を図るため、地域包括支援センター職員に対する助言及び支援や、業務進捗管理、統括、連絡調整を行いました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
相談件数	417件	391件	368件
会議・研修件数（主催のみ）	19回	31回	24回

★（2）第１圏域地域包括支援センター事業（富秋・信太中学校区）

１．保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員の３職種の他、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員を配置し、それら専門職が連携して医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを行いました。地域包括支援センターは市内４か所に設置されており、以下の取り組みを中心に行っています。

ア．高齢者の総合相談窓口として高齢者や家族から相談を受け、介護保険、福祉、健康、権利擁護等の必要なサービスが受けられるための支援、地域のネットワーク構築

イ．介護予防に関心のある高齢者組織や地域団体に対し、自主的な介護予防の場を作り、継続できるようにいきいきいずみ体操の普及や介護予防の啓発

ウ．高齢者が参加する地域組織や団体に対し、高齢者の権利擁護（成年後見制度、高齢者虐待防止、消費者被害防止）や各種制度、事業の周知啓発

エ．居宅介護支援事業所やサービス事業所、医療介護専門職との支援体制構築と実践力向上のため、連絡会や研修を開催

オ．認知症の人及びその家族への相談支援、医療、介護の支援ネットワーク構築、認知症対応力向上のための支援等、認知症に対する支援の充実・強化

カ．介護者家族の会の開催

２．本会では「富秋・信太中学校区圏域」を担当しています。上記取り組みの活動実績は以下のとおりです。

ア．総合相談

	令和７年度	令和６年度	令和５年度	介護保険、介護予防、生活支援、認知症、福祉サービス、医療介護連携など
相談件数	1,541 件	1,339 件	1,214 件	

イ．介護予防啓発

啓発件数	53 か所	いきいきいずみ体操の事業説明、運動状況の確認、実態把握、体力測定、熱中症、（ヒアリング）フレイル予防の講話など

ウ．権利擁護啓発　（単位：人）

実施日	団体名	参加人数	内容・テーマ
令和７年５月 15 日	宮本いきいきサロン（信太）	15	消費者被害防止
令和７年５月 30 日	体操クラブ（上代）	9	高齢者虐待防止
令和７年８月 23 日	ゆうゆうクラブ（鶴山台南）	9	消費者被害防止
令和７年８月 13 日	認定調査委員	7	消費者被害防止
令和７年９月 14 日	常念寺（王子）	20	消費者被害防止
令和７年 11 月２日	上町北いきいきサロン	16	消費者被害防止
令和７年 11 月 25 日	いきいきサロンお元気ですか	20	消費者被害防止
令和７年 12 月９日	尾井町いきいきサロン	30	消費者被害防止
令和８年１月 20 日	わきあいあいサロン	8	消費者被害防止

エ．事業所との支援体制構築

実施日	主な議題	参加事業所数
令和７年５月 23 日	高齢者の口腔機能と服薬	44
令和７年６月 13 日	多職種連携研修	60
令和７年８月 14 日	認知症初期集中チームについて考える	13
令和７年 11 月 21 日	第一圏域ケアマネ連絡会	10

オ．認知症に対する支援の充実、強化

初期集中支援チーム員会議への出席　10 回（内、初期集中ケース　評価１件）

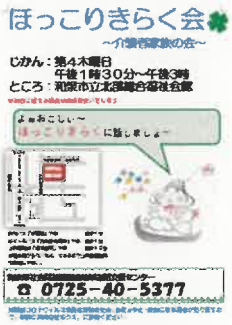
やさしい事業所への訪問啓発・アンケート配布　17 件

認知症サポーター養成講座の講師　　４団体　　出前講座　３か所

チームオレンジ立ち上げ支援、結成数　　２チーム

カ．介護者家族の会　　「ほっこりきらく会」

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
開催回数（延べ参加者数）	12 回（99 人）	12 回（98 人）	12 回（100 人）





（３）第１圏域生活支援コーディネーター事業（おたがいさまの地域づくり）

日常生活上のちょっとした支援が必要な高齢者のために、支援ニーズと多様な主体によるサービスの コーディネート機能を担い、生活支援・介護予防サービスを提供するとともに、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実、強化を図りました。

生活支援コーディネーターは市内４か所の地域包括支援センター内に配置されており、以下の取り組みを中心に行っています。

１．和泉市おたがいさまサポーター事業の運営

※おたがいさまサポーター事業とは、高齢者の見守りを兼ねて、日常生活のちょっとした困りごとを地域住民がサポーターとなり手助けする活動です。ゴミ出し支援や買い物代行支援等の活動を行うとポイントが付き、和泉市の特産品に交換できます。



２．地域資源や地域ニーズの把握ならびに資源開発

○本会では富秋・信太中学校区圏域を担当しています。上記取り組みの活動実績は以下のとおりです。

3．おたがいさまサポーター事業

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
サポーター登録人数	40 人	38 人	29 人
サポーター活動人数	10 人	11 人	8 人
事業利用人数	8 人	8 人	9 人

4．地域資源の開発

民生委員が不在である地域で、通いの場がない地域において、泉大津市社協と連携し、自主サークルである体操の場を立ち上げに成功しました。年２回の相談会開催を目指し、地域の担い手の発掘に取り組みました。

（4）第１圏域地域介護予防活動支援事業（出張型の介護予防啓発）

	令和７年度	実態把握、事業説明、継続支援、講座実施（シリーズ講座、単発講座）、その他など
介護予防普及啓発	28 件	

（5）第１圏域認知症地域支援推進員事業（認知症ネットワークづくり）

詳細は、「[９]（２）オ．認知症に関する支援の充実、強化」をご参照ください。

（6）指定介護予防支援事業（要支援１、2、事業対象者のケアマネジメント）

富秋・信太中学校区において、要支援１、２及び事業対象者の方に対して、利用者本人の出来ることを増やし、地域で生きがいや役割を持ち自立した生活が送れるように介護予防ケアプランの作成および委託先居宅介護支援事業所への介護予防ケアプラン作成への助言を行いました。

（単位：件）

	令和７年度		令和６年度		令和５年度	
区　分	自事業所分	他事業所委託分	自事業所	他事業所	自事業所	他事業所
介護予防支援	982	3,021	947	2,961	950	2,918
介護予防ケアマネジメントＡ	501	1,876	664	1,743	682	1,705
介護予防ケアマネジメントＢ	5	—	31	—	22	—
介護予防ケアマネジメントＣ	6	7	18	—	3	—

※事業対象者とは、介護予防・生活支援サービス事業のみを希望する方で基本チェックリストを用いた簡易な手続きで事業対象者の判定を受け、サービスを利用します。

※介護予防ケアマネジメントＡとは、要支援１、２及び事業対象者が訪問介護もしくは通所介護のみを利用した場合のケアプラン作成のことを指します。

※介護予防ケアマネジメントＢとは、要支援１、２及び事業対象者が和泉市おたがいさまサポーター事業もしくは行政が実施する訪問型サービスＣ・通所型サービスＣ（短期集中予防サービス）を利用した場合の緩和したケアプラン作成のことを指します。

※介護予防ケアマネジメントＣとは、要支援１、２及び事業対象者が介護予防・生活支援サービス事

業の移動支援サービス（住民主体のサービス等）の利用開始時に緩和したケアプラン作成のことを指します。

（7）要介護認定調査事業

介護保険制度における認定審査に必要な新規・更新の認定申請を、認定調査員（介護支援専門員）が訪問調査を行いました。また、事務受託法人として他法人の模範となるよう、調査員の知識や技術力の研鑽に努めました。

調査件数　（単位：件）

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
新　規	3,455	3,514	3,460
更新・区変	511	179	1,074
他市・みなし	231	273	217
合　計	4,197	3,966	4,751

※他市に住民票があり和泉市内の施設や病院に入所・入院している方、またはご家族のところに身を寄せている方の調査分も含みます。

（8）居宅介護支援事業

要介護認定において要介護1～5の介護給付認定を受けた高齢者及び要支援1または2の予防給付認定を受けた高齢者に対して、在宅サービスが有効に利用でき、安心して日常生活が営めるよう、介護サービス計画（ケアプラン）の作成や居宅サービス事業者との連絡調整、介護保険施設への紹介等のケアマネジメントサービスを行いました。

また、職員の資質向上のため、毎週の事例検討や毎月の研修といった取り組みも行い、より良いサービス提供につながるよう研鑽に努めました。

ケアプラン作成件数　（単位：件）

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
介護給付	758	1,204	1,170
予防給付	149	214	258
合　計	907	1,418	1,428

※「予防給付」は和泉市内の地域包括支援センターから受託した予防プランの作成件数を表したものです。

令和7年度事業所内研修内容

月	内容
4月	介護支援専門員　倫理及び法令遵守について
5月	感染症について
6月	プライバシー、個人情報保護について
7月	障がい者の理解について
8月	災害トリアージ

9月	ハラスメントについて
10月	集団指導の伝達
11月	成年後見について
12月	高齢者虐待について
1月	認知症について
2月	ヤングケアラー、生活困窮について
3月	振り返り・来年度の個別計画

★（9）訪問介護事業（要介護1～5の方にホームヘルパーを派遣）

介護を必要とする高齢者に対して、訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣し、自立した生活が営めるよう食事、入浴、排泄等の身体介護や調理、掃除、洗濯等の生活援助のサービスを行いました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
サービス利用者数	延べ384人	延べ385人	延べ339人

援助別派遣回数及び時間数

区　分	身体介護	生活援助	身体生活	令和7年度 合　計	令和6年度 合　計	令和5年度 合　計
回　数	1,299回	3,191回	889回	5,379回	5,340回	4,307回
時間数	969時間	3,015時間	1,141時間	5,125時間	4,869時間	4,066時間

★（10）介護予防・日常生活支援総合事業における老人居宅介護等事業

介護予防・生活支援サービス事業対象者に対して、居宅に訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣し、自立した日常生活が営めるよう、食事、入浴、排泄等の身体介護や調理、洗濯、掃除等の生活援助のサービスを行いました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
サービス利用者数	延べ97人	延べ86人	延べ109人

援助別派遣回数及び時間数

	令和7年度合計	令和6年度合計	令和5年度合計
回　数	658回	602回	808回
時間数	493時間	463時間	616時間

（11）安否確認等に関する事業

・いきいきサロン活動

詳細は、「[8] 校区社協活動の推進」をご参照ください。

★・ふれあい訪問事業・年末の見守り訪問事業

詳細は、「[１０]障がい者（児）支援事業」をご参照ください。

・誕生月プレゼント訪問事業

80 歳以上のひとり暮らしの方を対象に、社会的孤立の解消を目的として、校区社協ボランティアが社協のマスコットキャラクター“スマイルすいちゃん”のタオルをお届けし、誕生月にお祝い訪問を実施しました。

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
実施件数	3,100 件	3,189 件	3,163 件

・ひとり暮らし高齢者の会の支援

「ひとり暮らし高齢者の会」の活動として、会食会を実施しました。

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
実施回数	８校区　延べ 99 回	８校区　延べ 80 回	７校区　延べ 75 回
参加者数	延べ 1,393 人	延べ 1,216 人	延べ 1,311 人

（１２）車椅子貸与事業

通院や外出のほか、緊急で車いすが必要となった場合に、企業や団体から寄付でいただいた車いすを活用し、一時的な貸し出しサービスを行いました。通院や旅行などでの利用だけでなく、小学校の福祉体験授業にも利用されています。令和７年度は特に「大阪・関西万博」開催期間中において、多数の方に本事業をご活用いただきました。

［１０］ 障がい者（児）支援事業

★（１）基幹相談支援センター事業

和泉市の障がい福祉課と連携し、障がい者施策の充実に向けた体制整備の一環として、重点的な取り組みを推進するため各種専門部会を運営しました。これにより、事業者（事業所）の資質向上および連携強化を目的とした取り組みを実施するとともに、障がいのある人から生活上の困りごとや障がい福祉サービスの利用、その他必要な支援に関する相談を受け、助言や情報提供、関係機関との連携を図り、安心した生活の維持および自立と社会参加の促進につながるよう支援を行いました。

あわせて、相談者が抱える課題が複雑かつ多岐にわたることから、弁護士と連携した法律相談を活用し、専門職が制度や権利に関する知識およびそれに基づく支援技術を習得する機会の確保に努めました。

また、虐待を受けている、またはその疑いがある障がい者の世帯に対しては、解消に向けた介入を行うとともに、軽減・再発防止に向けた検証と実践を通じて、権利擁護および人権擁護の取り組みを推進しました。さらに、精神科に長期入院している方への訪問面談を実施し、地域移行（退院支援）の可能性についての検討を行うなど、幅広い分野において精力的に取り組みました。

○当事者ならびに事業所への支援実績

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
相談支援件数	4,215 件	3,840 件	3,217 件

○基幹相談支援センター所管会議・部会等実施状況　（単位：回）

項目	開催数	主な活動（検討）事項
自立支援協議会	2	和泉市の障がい施策に関する検討会議（事務局として出席）
推進会議	4	自立支援協議会への議題検証会議（各部会等活動の報告等）
相談支援部会	18	計画相談員及び事業所の資質向上、事業所間交流等
就労支援部会	33	工賃向上、一般就労への実習支援、事業所間連携等
地域移行部会	26	精神障がい者の生活に関する体制整備、理解促進勉強会等
地域生活支援拠点部会	16	在宅生活困難時の緊急時受け入れ制度や施設の体制整備等
権利・人権擁護の取り組み	9	法律相談支援、虐待事例検証、研修の実施等
支援の質向上プロジェクトチーム	5	事業所や支援者の「支援の質」の向上に関する取り組み等

※各部会、権利・人権擁護の取り組みについては実施主体者兼事務局

・障がい支援区分認定調査事業

障がいのある人が各種障がい福祉サービスを利用するにあたり、本人のさまざまな特性、心身の状態に応じて必要となる支援の度合い（支援に要する時間や程度）を認定するための支援区分認定調査（本調査）や、概況把握を主とした勘案調査（簡易調査）をご自宅、入所先や入院先等に直接訪問し、実施しました。

調査件数　（単位：件）

	新　規	更　新	令和７年度合計	令和６年度合計	令和５年度合計
区分認定調査	283	465	748	752	612
勘案調査	316	465	781	681	786

★（２）障がい者サービス等利用計画作成事業

障害者総合支援法に基づき、障がいのある人が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援専門員が本人の心身の状況や生活環境等を踏まえ、必要なサービスが提供されるよう支援しています。具体的には、本人の選択に基づきサービス等利用計画を作成するとともに、サービス利用中における生活状況の評価および計画の見直しを行いました。昨年度と比較して契約者数は微増しているものの、依然として収支面では支出が先行している状況にあります。制度の仕組み上、毎月安定的な収入を確保することが難しい状況ではありますが、収入予算との間に大きな乖離が生じないよう、次年度においては人員配置の見直しを行うとともに、契約者数の確保について引続き意識しながら、適切な運営に努めてまいります。

サービス等利用計画作成件数　　（単位：件）

区　分	計　画	モニタリング	令和７年度合計	令和６年度合計	令和５年度合計
障がい者	63	298	361	306	258
障がい児	8	15	23	25	35
地域移行	6		6	0	0
合　計	77	313	390	331	293

※地域移行とは、精神科病院の長期入院や障がい者入所施設からの退院・退所の支援計画を指し、支援の実施月件数で計上しています。

（３）障がい者地域活動支援センター事業

地域活動支援センターは、障害者総合支援法における地域生活支援事業として、障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作活動や生産活動疑似体験プログラムの機会を通じて、関係機関と連携・協力を行いながら相談援助を実施し社会交流の促進を図りました。また、ＳＮＳやチラシを用いて、以降に記載しているプログラム等の情報発信を行いました。

実施日数と利用者数

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
実施日数	241 日	243 日	243 日
利用者数	延べ 1,947 人	延べ 1,879 人	延べ 2,320 人

活動内容の一部

○創作活動で制作した作品は、北部総合福祉会館内に月替わりで展示を行いました。





○北部総合福祉会館のイベントにおける音楽発表

北部総合福祉会館の３月の会館フェスタにおいて、楽器演奏、歌の発表をとおして協調性やそれぞれの個性、特性を伸ばしたいと参加、発表をしました。今回の発表に向けて練習する中でみんなと話し合い協議することの大切さを学んでいただきました。





○北部総合福祉会館の会館たより貼替

月末月初ごろに館内の会館たより貼替を行っています。剥がす人、貼る人など各自で役割やスケジュールを考え作業を行いました。



★（４）障がい者福祉サービス等事業

「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」「移動支援」等を必要とする障がい者(児)に対して訪問介護員（ホームヘルパー）や移動支援従事者（ガイドヘルパー）を派遣し、自立した生活や活発な社会参加ができるよう、食事、入浴、排泄、通院介助等の身体介護や調理、掃除、洗濯等の家事援助、社会参加のための移動支援のサービスを行いました。

	令和７年度	令和６年度	令年５年度
サービス利用者数	延べ 996 人	延べ 1,295 人	延べ 1,350 人

援助別派遣回数及び時間数

区　分	身体介護	家事援助	通院介助１	通院介助２	重度訪問介護	移動支援	同行援護
回　数	2,288 回	2,460 回	173 回	270 回	0 回	1,727 回	2,054 回
時間数	1,659 時間	2,906 時間	265 時間	428 時間	0 時間	5,425 時間	10,596 時間

	令和７年度合計	令和６年度合計	令和５年度合計
回　数	8,972 回	10,126 回	10,431 回
時間数	21,279 時間	21,443 時間	21,395 時間

※「通院介助１」は身体介護を伴うもの、「通院介助２」は身体介護を伴わないもの

（５）安否確認等に関する事業

★・ふれあい訪問

ご自身に見守りが必要だと感じる方、地域との関わりが薄くなってきている方で、かつ 70 歳以上の方のみの世帯、障がい者の方のみの世帯、70 歳以上と障がい者の方のみの世帯の希望者を対象に、校区社協ボランティアの協力を得て、18 小学校区にて月１回～2 回、安否確認を行いました。令和７年度からは、見守り訪問の回数を月１回に変更したため実施件数が半数近く減少しています。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
実施件数	延べ3,413件	延べ6,881件	延べ8,404件
実利用者数（3月）	289人	301人	

・年末の見守り訪問事業

ご自身に見守りが必要だと感じる方、ご近所との関わりが少なくなってきている方で、かつ80歳以上の方のみの世帯、障がい者の方のみの世帯、80歳以上と障がい者の方のみの世帯の希望者を対象に、校区社協ボランティアの協力を得て、令和7年12月26日におせち料理をお届けし、安否確認を行いました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
実施校区数	19校区	18校区	18校区
件　数	166件	181件	205件

★（6）しゃきょうのハピ☆トレ事業

リハビリを通して、日常生活動作の改善と自立の促進を図ることを目的に、和泉市内の18歳までの障がい児及び発達の気がかりな児童を対象に毎週土曜日に実施しています。（※医師の判断で18歳以上も3年を上限に利用可能。）

訓練内容は理学療法、作業療法、言語療法、ボディワークの4種類あり、1回あたり50分間の訓練を、訓練士と利用者のマンツーマンで行っています。

また、12月5日に発達障がいのある児童・生徒への支援を研究されている松久眞実氏（桃山学院大学人間教育学部人間教育学科教授）を講師にお迎えし、「発達凸凹ちゃんってな～に？」というテーマでイベント講座を開催しました。講座には40人の参加があり、利用者の保護者以外にも発達障がい当事者や支援者も参加され、子育てする上での悩みや子どもへの向き合い方等、講師と参加者の間で活発に意見が交わされました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
実施回数	471回	473回	537回
利用者数	58人	50人	50人
訓練士数	14人	11人	11人

（7）車椅子貸与事業

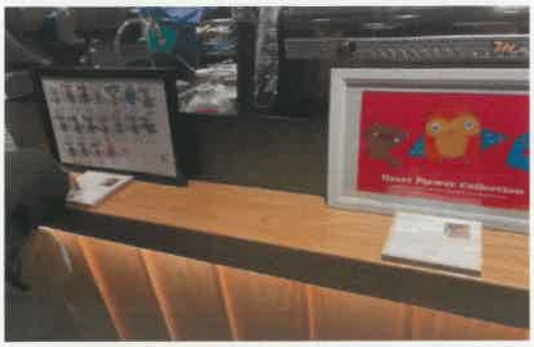
詳細は、「[9] 高齢者支援事業」をご参照ください。

（8）障がい者の社会参加促進

○まちなかアート

障がいのある方の自己実現と社会参加の促進を図るため、障がいのある方が制作したアート作品をまちのカフェに展示し、アートを通じて地域とのつながりを生み出す取り組みを実施しました。日常の中で自然に作品に触れることで、障がいへの理解が深まり、誰もが当たり前に認め合える社会づくりにつなげるとともに、地域住民が接点やつながりを持つ機会の創出を目指しました。実施にあたっては、賛同いただいた市内

の障がい者生活介護事業所、就労継続支援Ｂ型事業所及び市内カフェと協議を重ね、令和８年１月末から２月中旬まで、カフェでのアート展示を行いました。





［１１］児童・子育て支援事業

（１）子育てサロン活動

詳細は、「［８］校区社協活動の推進」をご参照ください。

（２）世代間交流活動

「［３］社会福祉活動等の啓発及び推進」の「（２）赤い羽根共同募金運動・地域歳末たすけあい募金運動の推進」に報告していますが、世代間交流のイベント「昔あそびを楽しもう！」を開催しました。

（３）児童養護施設退所者給付金事業

善意銀行に寄せられた寄付の中から、就職や進学等の理由により、児童養護施設を退所する児童に対し、１人３万円の祝い金を４人に給付しました。［２］組織体制の強化と財源の確保もご参照ください。

［１２］要援護者を支える相談事業の推進

★（１）ひきこもり等で社会参加が出来ていない人への支援（富秋中学校区）

令和６年度をもって「社会的居場所づくりプロジェクト とまり木会」は終了となりましたが、これまでの取り組みで見えてきた課題を踏まえ、新たな社会参加支援のあり方について検討を進めました。その一環として、地域の中で孤立を防ぎ、多様な世代がつながることのできる場として、教会を活用した地域の居場所づくりに向け、関係者との協議を開始しました。地域住民が気軽に立ち寄ることができる拠点となるよう、実施内容や運営方法、地域との連携体制等について意見交換を行いました。

また、ひきこもり状態にある若者の中には、外出できても行く目的やきっかけがなければ一歩を踏み出しにくい方や既存の制度や対象別の場だけではつながりにくいケースもあることから、地域の中で気軽に立ち寄ることができ、相談や見守りにもつながる居場所づくりを進めています。この居場所は、特定の対象者に限定せず、子どもから高齢者まで幅広い世代が集える場とし、多世代交流や地域のつながりが自然に生まれる場となることを目指しています。

今後も、ＣＳＷの個別支援におけるつなぎ先としても活用を図りながら、個別支援と地域づくりの両面から孤立防止に取り組んでいきます。

★（２）地域にＣＳＷの役割について周知を図り、日常的な関わりや協力の要請が得られるようになるための啓発活動（富秋中学校区）

１．地域福祉総合相談員事業

地域福祉総合相談員（以下、「ＣＳＷ」という。）は、年齢や障がいに関係なく、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように地域の皆さんと共に考え、地域の専門機関と連携しながら、問題の解決に取り組んでいます。なお、本会では富秋中学校区圏域が担当となります。

○相談実数（富秋中学校区）　（単位：件）

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
未就学	1	0	0
小学生	2	3	1
中学生	1	0	1
10代後半（中学卒業以上）	2	0	2
20代	11	6	1
30代	2	2	5
40代	8	7	6
50代	9	13	5
60代	6	7	6
70代	11	11	4
80代以上	3	6	2
不明	4	4	3
合計	60	59	36

○内容別相談件数（重複あり）　（単位：件）

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
福祉制度・サービス	20	16	17
生活全般	18	21	20
健康・医療	15	7	8
生活費	15	14	9
就労	17	9	5
財産管理・権利擁護	1	0	0
消費者被害	4	1	2
多重債務	4	8	4
ＤＶ・虐待	2	1	1
地域福祉・ボランティア活動	0	0	0
住宅	0	0	1
子育て・子どもの教育	4	6	3
その他	58	25	20
合計	158	108	90

※その他…ひきこもり、人間関係のトラブル、将来の不安などについての相談

○個別支援活動

本年度は、大学教授によるスーパーバイズ（助言指導）を踏まえ、増進型福祉の視点を意識した個別支援に取り組みました。課題解決のみにとどまらず、本人の思いや希望に丁寧に耳を傾け、本人のペースを尊重しながらスモールステップで支援を進めることを重視し、支援が停滞する場面でも、情報提供や対話を継続し、関係づくりを重ねることで、本人が自らの思いや希望を語る機会が徐々に増えていきました。また、本人の強みを活かした場づくりとして、ひきこもり状態にあった当事者の得意なユニット折り紙に着目し、北部総合福祉会館の敬老行事でミニワークショップを開催しました。当事者が講師役となり地域住民と交流する機会となり、ひきこもりへの理解促進にもつながりました。その後も地域の高齢者や関係機関との交流が継続し、定期的に折り紙を教える活動へと発展しています。

プラン作成においては、最終目標を見据えつつ、本人が「できそうだ」と感じられる小目標を設定し、状況に応じて柔軟に見直すことの重要性を実感しました。次年度も、困りごとだけでなく本人の思いや強みに目を向け、社会参加のきっかけづくりや地域とのつながりを意識した支援を進めていきます。そして、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域共生社会の視点を持って関係づくりを大切にしていきます。





○地域活動への参画及びＣＳＷ事業に関する周知活動

令和６年度に引き続き、もりもりカレー、てらこやハッピー、池上子ども食堂わいわい、ふれあいモーニング等の地域活動に参加し、地域住民との関係づくりとＣＳＷ事業の周知に取り組みました。あわせて、サロンやすこやかリビングなど高齢者向け活動にも参加したことで、直接相談や日常会話の中で悩みごとを伺う機会が増え、地域活動が相談支援の入口として機能していることを実感しました。

また、和泉総合高校定時制との連携を重点的に進め、生徒向け授業やお料理部への参加を通じて、生徒と継続的に関わる機会を持つことができました。授業では進学・就職・一人暮らし・受診等をテーマに寸劇を行い、ＣＳＷの役割について周知しました。お料理部では自然な会話の中で進路や生活の悩みを聞く機会が増え、必要に応じて支援コーディネーター教諭やスクールソーシャルワーカーと情報共有を行うなど、学校との連携強化につながりました。一方で、高齢者が気軽に集える場の不足、社会資源の情報が十分に届いていないこと、団体同士のつながりや多世代交流の機会が少ないことなどの課題も見えてきました。次年度は、地域活動の情報発信を強化し、参加や相談につながるきっかけづくりに取り組むとともに、民生委員児童委員や地域ボランティア等と連携したアウトリーチを進め、早期に課題把握できる体制づくりを目指していきます。また、高校と地域をつなぐ仕組みづくりや、卒業後・中退後も地域で相談につながる支援のあり方を検討していきます。

２．子ども食堂等の子どもの居場所作りへの支援

○子どもの居場所交流会への参加

和泉市で行われている子どもの居場所交流会へ出席し、子ども食堂の活動状況や課題、今後の方向性について把握するとともに、本会として、連携や支援の形を検討してきました。

子ども食堂等の団体や子育てサロンが地域の子どもたちにとって安心して過ごせる居場所であるとの認知を広めるために赤い羽根共同募金を財源とし、共通するのぼり旗を作成し配布を開始しています。

○子ども食堂等への食料品等の支援

和泉市の子ども食堂のネットワークを活用し、和泉市で活動する子ども食堂等へ企業や地域から善意銀行へ寄せられた米等の食料品等の情報提供を行い、必要とされている団体へ、皆様からの善意のお気持ちと共に、おつなぎしました。

（３）生活福祉資金、総合支援資金等の貸付、フォローアップ支援

低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対し、資金の貸付について必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進に向けての支援を行いました。

また、コロナ禍による収入減少世帯を対象に貸付を行った、コロナ特例貸付資金の借受世帯に対し、フォローアップ支援も実施しました。（実際の貸付主体は大阪府社会福祉協議会。下記は決定額です。）

○生活福祉資金貸付状況

資金名	申込件数	決定件数	金　額
福祉（転宅・必需品他）資金	24 件	24 件	6,135,000 円
教育支援資金	39 件	38 件	23,470,000 円
緊急小口資金	12 件	10 件	963,000 円
総合支援資金	0 件	0 件	0 円
合　　計	75 件	72 件	30,568,000 円

合計（令和 6 年度）	76 件	74 件	30,771,000 円
合計（令和 5 年度）	92 件	85 件	28,861,000 円

○コロナ特例貸付資金フォローアップ支援状況　（単位：件）

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
償還等相談件数	601	545	525
フォローアップ支援実績数	100	122	28

（４）心配ごと相談事業の運営

地域で活躍するボランティアが「心配ごと相談員」となり、日常生活の心配ごとや悩み事についての相談を受け付けています。

1．相談件数

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
相談件数	34件	29件	34件

2．心配ごと相談事例検討会

実施日	令和７年６月10日、10月27日、令和８年３月９日

今年度は、心配ごと相談員の半数が新任であったことから、多く寄せられる相談事例や相談者のつなぎ先に関する理解を深めるため、事例検討会に併せて学習会を実施しました。

学習会では講師を招き、「発達障がいとひきこもりの子どもたちについて」「消費者トラブル等への相談対応について」「地域包括支援センターおよびいきいきネット相談支援センターの事業や取り組みについて」をテーマに学びを深めました。

★（５）日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい・精神障がい等により、判断能力が不十分な方の自立生活を支援するため、福祉サービス利用援助、日常の金銭管理、財産保全等のサービス提供を行いました。現代の家族の在り方、生活様式の変容により家族支援が脆弱になり、当該事業へのニーズは年々高まっていますが、配置人員の不足により支援が行き届かない現状があり、本会都合では最長９か月の待機が生じています。

新規にご利用を希望される方について適切にアセスメントを行い、無用または長期の待機解消を図ると共に、緊急支援優先受付の基準を設け、必要な方へ支援が届く体制を整えました。

（単位：件）

項目	令和７年度	内訳				令和６年度	令和５年度
		（認知症）	（知的障がい）	（精神障がい）	（不明）		
年度末契約者数	73	9	29	35	0	68	65
（内新規契約）	19	5	5	9	0	16	7
（内解約終了）	14	自己管理や他市転居による移管等				13	13
初回相談受付	61	15	16	29	1	－	－
契約前相談	71	契約前に対象者を訪問し相談				77	28
契約後活動	2,960	金銭のお渡し、振込手続き等 役所の手続き、携帯電話契約同行、転居支援、電話相談等				2,634	2,744
（内定期支援）	2,122						
（内相談援助）	838						

★（６）成年後見中核機関運営事業

・いずみ成年後見人サポートセンター

市民・親族後見人等の支援窓口機関として市社協内に設けられたセンターで、成年後見制度に関する市民の理解や活用促進に向けた周知活動や研修会の開催、市民後見人の養成ならびに親族または市民で成年後見人等として活躍されている方に向けたサポート体制整備を行いました。また、中核機関の全体的な方針や取り組みについての関係機関会議の事務局を担いました。

	項　目	開催回数	主な活動内容
専門職・支援者向け	協議会（方針会議）	2回	第5次地域福祉基本活動計画の指標に基づき、取り組むべき目標設定し、具体的な達成手法を協議
	運営会議（推進会議）	4回	
	中核会議	12回	市3課といずみ後見人サポートセンターによる事前会議
	専門相談（親族後見人向け）	12回	親族後見人からの相談予約がない場合は一次相談窓口等の専門職からの相談に切り替え
	日常生活自立支援事業& 成年後見制度ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ発行	1回	支援者に制度を正しく理解いただき、制度の利用を必要とする対象者に対し、適切な案内が行えるようになることを目的に作成
	研修会の開催	2回	12月19日「後見人との連携入門講座」 3月18日「意思決定支援の勉強会」
市民向け		2回	4月17日「成年後見制度について（作業所家族会対象）」 9月11日「成年後見制度と遺言」
	地域出張相談会（圏域別）	4回	弁護士会、司法書士会、社会福祉士会による後見に関する出張相談会を、地域包括支援センター及び障がい者基幹相談支援センターと連携し開催
	市民後見人養成講座 市民後見人バンク登録者研修会（交流会）	基礎：4回 実務：5回 交流会：1回	運営主体は大阪府社会福祉協議会 市民後見人バンク登録者は4人
	各種研修や情報の広報周知	随時	社協いずみ、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、館内デジタルサイネージなどで周知

［１３］災害時に備えた取り組みの推進

（１）福祉避難所の設置・運営や訓練に関すること

福祉避難所部会として、福祉避難所の開設訓練（総合福祉会館・北部総合福祉会館）において法人内職員参加の訓練を実施しました。これまでは、主に発災から受入れまでを想定した訓練内容でしたが、令和７年度は避難者の受入れ及び部屋の割振りや避難者からの要望対応など避難所運営に重点を置いた訓練を実施しました。

（２）災害ボランティアセンター設置・運営や訓練に関すること

災害ボランティアセンター協働部会として、社協職員が災害ボラセンの運営に際し外部団体との連携や現代のデジタル活用を視野に入れ、より具体的な実践イメージを持つことを目的に、カードゲームを用いた「マッチングシミュレーション」を行いました。日常業務に即して見えた課題は各部署に持ち帰り、今後も検討していきます。



★（3）企業ならびに関係団体とのネットワーク構築に関すること

令和６年度に立ち上げた災害ボランティアセンター協働ネットワーク会議に参画される18の企業・団体と法人内職員を対象に、平野裕司氏（桃山学院大学社会学部ソーシャルデザイン学科講師）による基調講演「災害支援の今とこれから」を催し、災害ボランティアセンター設置時の課題や『福祉的支援の充実』をふまえ、それぞれができることについてグループディスカッションしました。災害発生時に社協と各種団体が平時のつながりを活かして迅速な対応ができるよう連携の在り方を定期的に検討する必要があると共通認識を持ちました。





（4）災害時の対応における、法人内の体制整備に関すること

法人・各課各係災害時行動部会として、「災害時の事業継続計画（和泉市社協ＢＣＰ）」と「災害時対応マニュアル」の見直しを進め、統合版の作成に向けた取り組みを行いました。また、本会職員に配付するための「和泉市社協職員用ハンドブック」の作成にも取り組みました。

いずれも、完成は令和８年度当初を予定しております。

★（5）地域住民への防災、減災ならびに被災後の対応に関する啓発活動

○能登半島地震の被災地である石川県珠洲市への視察

本会職員５人、和泉市職員１人、高石市社協職員３人が、珠洲市を訪問し、発災時の状況や復興を進める上での課題、和泉市において取り組むべき防災施策について学びました。現地では、保健医療福祉調整本部長や珠洲市社会福祉協議会からの説明を受けるとともに、仮設住宅の見学も行いました。帰市後は、学んだ内容を市民や専門職へ報告し、防災意識の啓発に取り組みました。

○災害支援ボランティアバスツアーの運行について

令和７年７月19日～20日、泉大津市社協・高石市社協・忠岡町社協及び本会の３市１町の社協が合同で、能登半島被災地の一日も早い復興を願い、復興応援ボランティアバスツアーを実施し、各所の被災地を訪れ、語り部の方の体験談から被災状況や現状について学びました。




［１４］ボランティア・市民活動の推進

（１）ボランティア・市民活動啓発

ボランティア・市民活動に関する相談をはじめ、市民が気軽にボランティアに参加できる環境づくりを行うとともに、和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」では、地域に根ざした活動が推進できるよう、次の事業を実施しました。

１．講座・交流・広報活動

ア．講座・研修等の開催

（単位：人）

実　施　日	内　容	参加者数
年間７回開催	アイ・あいロビー教室	延べ 145
毎月１回(１月を除く)	普通救命講習会	延べ 27
毎月１回（12 回開催）	シニアのためのスマホ相談会	108
令和７年６月３日	ボランティア・アドバイザー養成講座	3
令和７年８月 20 日	夏休み親子福祉体験講座	延べ 37
令和７年９月 26 日	ボランティア・市民活動入門講座	12
令和７年 12 月 17 日	視察・研修会（茨木市文化・子育て複合施設おにクル）	18
令和８年１月 31 日	災害ボランティア養成講座	40
令和８年２月 20 日	ボランティア・市民活動ステップアップ講座	37
令和８年２月 28 日	あいサポーター研修	15
令和８年３月 14 日	ＮＰＯ・市民活動支援講座	23

イ．他市、他機関との交流・協働等

（単位：人）

実　施　日	内　容	参加者数
毎月１回(12 回開催)	おしゃべりカフェ（市民ラウンドテーブル）	延べ 85
令和７年９月 11 日	ボランティア・市民活動交流サロン	53
令和７年６月７日	子育て世代応援「ももやまキッズランド」	延べ 400
令和７年 10 月４日		156
令和７年 12 月 13 日		75
令和８年 ３月 11 日	ボランティア・市民活動情報交換会	43







ももやまキッズランドは「アイ・あいロビー」の他、
大学や商業施設へ出向し、学生ボランティアの積極的な参加を促進

２．イベントの開催　　（単位：人）

実　施　日	内　容	参加者数
令和７年８月２日	夏休み親子ふれあい日帰りキャンプ	114
令和７年10月19日	アイ・あいロビーフェスタ 2025	延べ 700





ボランティアさんの日頃の活動の発表の場、世代間交流や出会いの場として市民参加型の大型イベント
今年は名称を改め「アイ・あいロビーフェスタ 2025」開催

（２）広報活動

○情報誌の発行、ホームページ等の運用

令和６年度より公式ＬＩＮＥからのメッセージ配信制限を拡張することができ、講座やイベントの開催情報や活動報告などをタイムリーに発信できるようになりました。今後もＳＮＳ等を有効活用し、広報活動を行い、新たなボランティア活動者の獲得に力を入れます。

内　容	摘　要
情報紙「アイ・あいロビーニュース」の発行	年４回
広報紙「社協いずみ」「広報いずみ」に掲載	随　時
ホームページ、ＳＮＳによる情報提供	随時更新
ボランティア・市民活動紹介誌の発行	800 部

（３）ＮＰＯ法人に関する設立及び簿記の運営相談等窓口の設置

１．ボランティア・市民活動登録の受付、コーディネート等

ア．ボランティア・市民活動登録者数

		令和７年度	令和６年度	令和５年度
ボランティア登録者	個人	85 人	86 人	90 人
	団体	96 団体	94 団体	100 団体
市民活動登録者	市民活動団体	31 団体	31 団体	27 団体

イ．ボランティア依頼件数　　（単位：件）

	令和７年度		令和６年度		令和５年度	
依頼内訳	依頼件数	成立件数	依頼件数	成立件数	依頼件数	成立件数
個人	1	1	4	2	7	4
施設	17	9	19	9	16	12
イベント	108	102	102	94	102	93

学校・行政機関	21	21	19	19	19	19
合計	147	133	144	124	144	128

ウ．ボランティア体験プログラム（大阪府社会福祉協議会共催）

「アイ・あいロビー」の事業の中から、初めての方が体験しやすいプログラムを提供し、ボランティアの受け入れを実施しました。（10プログラム延べ75人参加）

2．ＮＰＯ法人に関する設立及び簿記の運営相談等窓口の設置

専門家による相談対応、他機関との連携や情報交換等

ア．相談

相談内容	開催状況	相談件数
税理士によるＮＰＯ法人のための会計相談	3～5月（第4水曜日）	1件
ＮＰＯ法人設立・運営相談	随時	1件
市民活動推進支援事業申込に関する相談	9月2日～9月30日受付	1件

イ．支援

支援内容	支援状況	支援件数
市民活動おたすけ隊	チラシ、案内状、帳票作成等	24件
登録団体応援プロジェクト	広報、受付、貸室支援等	5件

（4）ボランティア・市民活動センターの運営管理

ボランティア・市民活動の拠点として会議室、機材、備品の貸し出し、ボランティア保険の加入促進

1．組織・運営

ア．運営推進協議会（令和7年5月28日、令和8年1月29日）

イ．運営委員会（毎月1回　第2月曜日）

ウ．専門部会　（単位：回）

部　会　名	開催数
情報収集・提供	14
啓発・学習提供	12
交流促進・ネットワーク	12
協働推進	12
センター管理・アドバイザー	12

エ．ボランティア・アドバイザーの配置

ボランティアの需給調整や活動の推進を行うため、毎日3人のボランティア・アドバイザーを配置し、月1回アドバイザーの連絡会を設け、情報交換等を行いました。

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
登録アドバイザー数	20 人	21 人	22 人

２．施設利用状況　　（単位：件）

		令和７年度	令和６年度	令和５年度
施設利用状況	会 議 室	777	722	752
	印刷機器利用	571	534	662
	備品貸し出し	128	63	67
	Wi-Fi（無線 LAN）利用	53	56	57

３．ボランティア保険の加入数　　（単位：件）

保険の種類	件数
ボランティア活動保険	218
ボランティア・市民活動行事保険	607
移送中事故傷害保険	10
非営利・有償活動団体保険	18

★［１５］総合福祉会館及び北部総合福祉会館の管理運営

【総合福祉会館管理運営事業】

高齢者や障がい者（児）が生きがいを持ち、健康で自立した生活ができるよう各種事業の充実に努めるとともに、理学療法士による機能訓練等を実施する等、地域福祉を推進する拠点施設として機能の充実を図りました。

会館利用者数　　（単位：人）

区　分		高齢者	障がい者(児)	ボランティア	その他(一般)	令和７年度合計
計		53,373	1,890	916	5,249	61,428
事業別内容	各種講座等	10,186	680	22	736	11,624
	入浴事業	2,991	0	－	－	2,991
	ヘルストロン	16,243	－	－	－	16,243
	機能訓練事業	－	292	－	－	292
	整形外科検診	－	78	－	－	78
	貸館等自主活動	21,596	702	697	3,713	26,708
	イベント等	1,262	0	63	314	1,639
	社協自主事業	1,095	138	134	486	1,853

令和6年度合計	令和5年度合計
62,685	58,962

●会館事業

会館フェスタ 2025in 総福

貸館団体とボランティア団体の発表の場として 11 月 15 日～11 月 21 日に「会館フェスタ 2025in 総福」を、福祉会館主催の教室の発表の場として令和 8 年 1 月 31 日～2 月 6 日に『卒業フェスタ 2025in 総福』を開催しました。

11 月開催の『会館フェスタ』では、舞台発表や展示で沢山の方にご来館頂きました。『昭和歌謡と一緒に楽しむ音楽体操』、『みんなで唄おう♪いずみ・歌の広場』、『笑泉会による落語出前寄席』、『桃山学院大学生によるスマホ個別相談会』『点字体験会』などのイベントも行われ、大盛況となりました。

また、1 月末から 2 月初めに開催の『卒業フェスタ』では各講座の発表や作品展示と同時に、講座体験ができるイベントとして、『健康体操教室体験』『太極拳教室体験』『ハンドマッサージ体験』、『俳句教室体験』、『水彩画教室体験』、『キルトとお花の手芸教室体験』等を開催し、講座内容をイメージしていただくことができ、受講生の獲得、新規の利用者の獲得につなげることができました。多くの方のご来館があり、みなさん楽しんでおられました。



会館まつりの舞台発表の様子





卒業フェスタ（ハンドマッサージ・ウクレレ）の様子

おしゃべり広場

誰もが気軽に参加でき、会館利用者同士で新たなつながり、仲間づくりの場として、令和 7 年度は計 6 回、会館の貸館団体の方や、しゃきょう元気隊、年輪大学院生の協力の上、おしゃべりひろばを開催しました。

ハンドトリートメントやカーレット（氷上のカーリングを机上で行うゲーム）、ものづくり、歌唱・ダンス等の様々なレクリエーションを行い、参加者同士もお互いに分からないところを教えあう等、仲良く楽しんでおられました。



「うさちゃん」によるカーレット



「手 to ての会」によるハンドトリートメント

あつまれ！しゅくだいの森 in 総福

会館ボランティアの方と地域の小学生が夏休みの宿題を通して交流することで、高齢者、ボランティアさんへの理解と交流、夏休みの思い出づくりとなることを目的に、「あつまれ！しゅくだいの森 in 総福」を開催しました。工作、絵画、書道の 3 科目を行い、子ども達もアドバイスを受けながら、自身の作品作りに集中していました。

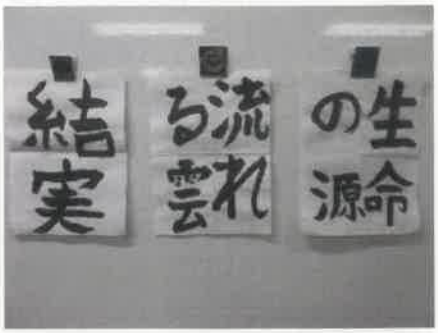
（絵画編）



（工作編）



（書道編）



年輪大学

令和 7 年度の年輪大学は、22 人の方が修了されました。カリキュラムでは序盤に外出する講座を多く入れることで、仲間づくりをよりスムーズに行っていただけるよう工夫をしたり、毎回の講座に当番制の日直を設ける等、より自主的に年輪大学の運営に携わっていただきました。

その甲斐もあり、皆さんとても仲良くなられたようで、協力して課題に取り組んでいただく講座「地元自慢を再発見」や「年輪大学祭」では、全員で取り組み、自分たちで考えた出し物や体操、楽器演奏、カラオケ等で大いに楽しんでおられました。



年輪大学初回の開講式





年輪大学祭での発表

年輪大学院

年輪大学院は年輪大学で学んだ知識や経験を活かし、専門的な学習を通して、地域で活動できる人材の育成を目指して開講しており、令和 7 年度は 17 人の方が修了されました。

座学で学んだ知識を実践するため、「チャレンジボランティア」で様々なボランティアを体験した後、1 年間の集大成として、「ボランティア企画」で大学院生自らボランティアを企画し、実践していただきました。そして今後も、修了生全員でボランティア団体を立ち上げられ、年輪大学院で学んだ知識と経験と院生同士のつながりを生かし、地域福祉の担い手として活動を継続されます。





年輪大学院修了式＆発表会の様子

高齢者教養講座

高齢者教養講座では、「ウクレレ」「健康体操」「太極拳」「書道」「木彫り」「キルトとお花の手芸」「俳句」「水彩画」「生花」「健康美容」の 10 教室を開催しました。

また、受講生の皆さんの 1 年の活動成果を発表する場として「卒業フェスタ 2025in 総福」を開催し、舞台発表や作品展示、体験講座イベントを行いました。

体験できる講座が多くあった事と、次年度の講座募集期間に開催したこともあり、「楽しかったから是非来年参加したい」と、お越しいただいた多くの方が、その場で次年度の講座に応募しておられました。

障がい者教養講座

障がい者創作活動教室では、「陶芸（2 教室）」「手編」「絵画」「書道」の 5 教室を開催しました。

今年もものづくりを通して、教室生同士の交流と生きがいをつくられていました。

また、普段顔を合わすことのない他の教室生と交流をもってもらえるよう、例年野外活動を行っています。野外活動を楽しみにしていらっしゃる方が多く、気心の知れた人たちと、おしゃべりや、お買い物など交流をしながら 1 日楽しく過ごされました。





和泉市内のガラス工場や陸上自衛隊信太山駐屯地を見学しました

さらに、障がい者の方を対象に作品を展示するきらめき作品展に、創作活動教室の 5 教室が作品を展示しました。今回も、コミュニティセンター等で作品展示を行いました。会館フェスタとは違った雰囲気で、広く一般の方に作品を見て頂ける機会になり、作品を見た方も「すごく上手な作品が多いね。良かったよ。」と大好評でした。

あわせて、今年で4回目となる大阪信用金庫での展示会に、9月4日～26日の期間、障がい者の絵画教室の皆さんが参加されました。絵を描かれた方からは、「沢山の方に作品を見て頂けるきっかけになって嬉しい」との声があり、とても楽しい企画でした。





きらめき作品展や大阪信用金庫での展示の様子です

新規イベントの開催

令和7年度初の試みとして、3つの講座やイベントを開催しました。ひとつ目は、「eスポーツを体験してみよう！」講座です。e スポーツを知り、体験することにより、利用者同士の交流を深めていただき、世代間交流のきっかけづくりになることを目的に講座を開催しました。eスポーツとは、コンピューターゲームやビデオゲームを使った対戦を、スポーツ競技として捉える名称です。実際にレースゲームやリズムゲームを楽しみながら参加者同士の交流にもつながりました。講座は2日間開催し、のべ36人の方にご参加いただきました。

ふたつ目は、会館の利用者同士の交流を深めていただくことや、新たに会館を知ってもらうために、出前寄席を開催しました。伝統的な話芸で古典芸能の一つである落語の魅力を気軽に感じてもらうため、笑泉会に所属している3人の方に出演していただき、18人の方にご参加いただきました。

最後は、「チョークアートを体験しよう～オイルパステルと指でくるくる絵を描こう～」講座です。参加者の皆さんは講師の見本となる作品を参考にしながら、クリスマスやお正月をテーマにしたチョークアートを制作していました。同じ日に計4回開催し、27人の方にご参加いただきました。



「eスポーツを体験してみよう！」



笑泉会による出前寄席「福福寄席」



「チョークアートを体験しよう」講座とチョークアートの制作風景

【北部総合福祉会館管理運営事業】

高齢者や障がい者（児）が生きがいを持ち、健康で自立した生活ができるよう各種事業の充実に努めるとともに、新たな分野の講座を実施する等、地域福祉を推進する拠点施設として機能の充実を図りました。

会館利用者数　（単位：人）

区　分		高齢者	障がい者（児）	ボランティア	その他（一般）	令和７年度合計
計		49,562	3,593	684	6,554	60,393
事業別内容	各種講座等	5,701	13		366	6,080
	入浴事業	4,119				4,119
	マッサージ	1,180	－			1,180
	ヘルストロン	393	－			393
	貸館等自主活動	37,340	3,538	684	6,090	47,652
	イベント（会館まつり等）	829	42	0	98	969

令和６年度合計	令和５年度合計
53,638	53,862

●会館事業

高齢者教養講座

教養の向上、健康の増進、生きがいづくりや仲間づくりの場として、地域社会でのコミュニケーションの輪を広げていただけるように市内在住の 60 歳以上の方を対象として以下の講座を開催しました。

（単位：人）

講座名	申込者数	定員	参加者数	年間講座
太極拳	19	20	19	１年間
書道	10	9	9	１年間
フラダンス	20	15	15	１年間
ヨガ　前期	52	20	20	半年間
ヨガ　後期	27	20	20	半年間

識字	11	15	11	1年間
折り紙（高）	1回目　18 2回目　22 3回目　9	各回　15	1回目　15 2回目　15 3回目　9	単発講座
貼り絵	1回目　16 2回目　13 3回目　18	1～2回目　10 3回目　20	1回目　10 2回目　10 3回目　18	単発講座
編み物	1回目　8 2回目　9 3回目　14	各回　10	1回目　8 2回目　9 3回目　10	単発講座
音楽体操	39	20	20	半年間
槇尾山幟上げ音頭	6	20	6	4回シリーズ
泉州お伊勢音頭	10	10	10	半年間
よさこい	34	20	20	半年間
創作教室（盆栽）	37	10	10	単発講座
健康体操	173	各組35	140	1年間
高齢カラオケ			各回20～25名前後	1年間（毎週月曜日）
健康美容	体験会　8 1回目　12 2回目　12	15 10 10	8 10 10	単発講座（体験会） 6回シリーズ
はじめての大正琴	13	7	7	1年間
スマホ相談会	11	10	10	単発講座

どの講座(教室)も人気があり、ほぼ定員を上回る申し込みがあります。また、昨年度よりさらに男性参加者も増加しており、引き続き人生における第 2 の活躍の場を探している方のニーズにマッチングするように今後も興味を持ってもらえる講座(教室)の展開を検討していきます。

令和7年度も前年度に引き続き「健康美容教室」を開講しました。6回から8回シリーズへと増え、講座2回とも募集人数を超える応募がありました。講座内容も好評で、受講者の方の満足度がとても高く、今年度も大人気の講座になりました。

また、情報弱者になりがちな高齢者が簡単に情報を取得できるようになることを目的に「シニアのためのスマホ相談会」を開催しました。今年度はテーマを絞らず、スマホに慣れていない高齢者の方がより操作方法の理解を深めてもらえるように、個人のニーズに合わせた形態で講座を開講しました。

なお、この相談会では、前年度に引き続きアイ・あいロビーの「シニアスマホサポーター養成講座」の卒業生の方が対応していただきました。





障がい者教養講座

創作活動を通して、社会参加の促進や新たな創造性の発見を図り、社会性の向上を目指して講座を開催しました。

また、昨年度に引き続き高齢者教養講座の中には、障がい者教養講座も含まれており、一緒に教養講座を受講し、共通の話題で楽しく参加していただいております。

（単位：人）

講座名	申込者数	定員	参加者数	年間講座
折り紙（障）	1回目　3 2回目　4 3回目　3	10	1回目　3 2回目　4 3回目　3	単発講座
絵画教室	3	10	3	単発講座
障がい者（児）カラオケ			各回 10～15 前後	1年間（毎週金曜日）

絵画教室（障がい者（児）向け）

令和7年度は「スマホホルダーを作ろう」というテーマであらかじめカットしたスマホホルダー用の木材に、自分のイラストを筆で色付けしていくことで、世界に 1 つしかないスマホホルダーを作成しました。





その他教養講座

手話通訳者や点訳者の養成として、市内在住の方または在勤（学）の方を対象として以下の講座を開講しました。

（単位：人）

講座名	申込者数	定員	参加者数	年間講座
手話　前期	10	20	10	半年間
手話　後期	8		8	半年間
点字講習会	1	4	1	半年間

厚生労働省による手話奉仕員養成カリキュラムが変更となり、令和7年度から手話奉仕員養成講座の内容が大きく変更となりました。教科書2冊に加え、手話動画視聴システムが導入されるなど、手話に対してより実践向けでわかりやすく、若年の方から高齢の方まで幅広く学んでいただける講座となりました。

敬老のつどい

日頃、北部総合福祉会館をご利用いただいているサークル活動の発表の場として、敬老のつどいを9月12日、13日に実施しました。

敬老の日ということもあり、昨年度に引き続き近隣の幼稚園、保育園の園児からもお祝いの発表をいただきました。

また、今年度は新たに「ｅスタジアムいずみ」ご協力のもとｅスポーツ体験会を実施し、子どもから大人まで楽しんでいただける内容となりました。





会館フェスタ２０２５in北館

北部総合福祉会館が主催となり実施した半年または１年間の講座における成果の発表の場として会館フェスタを３月６日、７日に実施しました。また、今年度は株式会社ヤクルト協力のもと、「おなかの健康」をテーマに健康にまつわる出前講座を実施いただきました。どの講座の発表も素晴らしく、「講座に参加してみたい」「楽しそう」といったお声を多くいただいたイベントとなりました。





日帰り野外研修（障がい者（児）向け）（参加人数４人）

10月25日に市内在住の障がいのある方を対象とした日帰り野外研修を企画、実施しました。『手織体験で作るランチョンマット』をテーマに、手織適塾ＳＡＯＲＩにて手織体験を行い、ＪＲ大阪駅周辺で昼食をとり、その後、大阪の都会に触れながら散策をしました。自分で一から糸を選び、また違う色の糸を選んで形作るという工程をとおして「いい色合いができた」や「いろんな色を混ぜるのが楽しい」などの声をいただき、貴重な体験の機会を提供することができました。





●自主事業

あなたは大丈夫？フレイル予防講座

加齢とともに心身の活力が低下し、健康障害を起こしやすくなる「フレイル」という状態から介護につながる危険信号を見逃さないための予防法について学ぶことを目的とし、昨年度に引き続き明治安田生命保険相互会社の協賛のもと開催しました。



（単位：人）

内容	参加人数
第１弾　人生100年時代　自分の人生は自分で選ぶ！創る！	23
第２弾　フレイル予防のための行動計画を立てよう！	19

防災講座　（参加者数 14 人）



災害発生時にどのような行動をとれば良いのか、事前にどのような準備をしておけば良いのかを全国各地で講演活動をされている防災士から学び、いざという時に自身を守る防災意識を高めることを目的として開催しました。

今回は「シミュレーションゲームで災害時の行動を考える」というテーマで、神戸市が作成した「ダイレクトロード」という災害疑似シミュレーションゲームを実施しました。旅先で全く土地勘のない場所での被災を想定し、グループワークで与えられたヒントをもとに、地形や避難先などの正しい情報を探しながら避難する、より実践向けの内容となりました。

今後も継続して市民の防災意識を高めることを目的に、年 1 回防災についての講座を開催していきます。

交通安全講座（参加者数 10 人）



令和８年５月までに、「自転車にも反則金制度を導入する」という道路交通法の改正案が施行されることから、法の施行までに自転車乗車時の走行ルールを再認識することや交通事故防止の啓発活動を目的として、和泉警察署にご協力いただき開催しました。

ＡＥＤ講習会（参加人数８人）



講習や模擬体験を通じてＡＥＤの使用方法を学び、１人でも多くの市民の方々が人命救助の必要な場面において救命措置を実施することができるようになることを目的として、日本光電工業株式会社にご協力いただき開催しました。

［１６］福祉団体への支援

和泉市老人クラブ連合会、和泉市身体障がい者福祉会、和泉市手をつなぐ親の会、和泉市母子福祉会、和泉地区保護司会、和泉市更生保護女性会、和泉ＢＢＳ会への活動に関する側面的支援を行いました。

（各団体の取り組みの一例）

【社会を明るくする運動】

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。

７月が啓発強化月間であることから、和泉地区保護司会、和泉市更生保護女性会、和泉ＢＢＳ会により、７月１日に和泉府中駅前や他駅前で街頭啓発運動を実施し、７月５日には中心事業である推進大会を実施しました。

推進大会では、少年の立ち直りに生活指導や職業指導を行い、社会復帰に向けた活動に取り組まれている、兼平優氏（和泉学園【初等、中等少年院】園長）による「和泉学園の教育について」の講演会が行われ、213 人の参加者がありました。また、町会連合会のご協力で市内各所の掲示板等で社会を明るくする運動を多くの市民に周知されました。





【ひとり親家庭への支援】

和泉市母子福祉会の活性化と新規会員の確保、夏休みのひとり親家庭への支援を目的に、８月 24 日、市内在住のひとり親家庭の親子を対象に、菓子工房 T・YOKOGAWA のパティシエによる 「親子ふれあいケーキ教室」を開催し、親子で楽しい充実した時間を過ごされました。当日初めて参加された２人の方が新しく入会されました。

また、秋には、会員同士の交流イベント「ユニバへ行こう！！」を企画し、親子 12 組、28 人の方が参加され、楽しい一日を過ごしました。







【シニアグランドゴルフ大会】

和泉市老人クラブ連合会との共催にてシニアグランドゴルフ大会を5月15日に光明池緑地運動場にて開催しました。新緑まぶしい中、270人の参加者が競技を楽しみました。

【シニアペタンク大会】

和泉市老人クラブ連合会との共催にてシニアペタンク大会を10月23日に光明池緑地運動場にて開催しました。さわやかな秋晴れの中、132人の参加者が競技を楽しみました。

【「笑いと健康」講演会】

2月7日に「笑いと健康」講演会が和泉シティプラザ弥生の風ホールにて開催されました。

今年度は豊島美雪氏（フリーアナウンサー）を講師にお招きし、「いつまでも輝きながら生きる」と題し、実演や体操を交えたとても有意義で楽しい講演会でした。







一般会計決算書

令和7年度　社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業別決算額

（単位：円）

拠　点 サービス区分	収入額 （A）	支出額 （B）	収支 （C）	前期末 支払資金残高 （D）	支払資金 残高調整 （補正額）（E）	前期末 支払資金残高 （補正後）（F）	補正額(出) （G）	当期末 支払資金残高 （C+F+G）
本　部	142,653,498	148,593,259	△ 5,939,761	31,542,075	0	31,542,075	0	25,602,314
法人運営事業	142,653,498	148,593,259	△ 5,939,761	31,542,075	0	31,542,075	0	25,602,314
総合福祉会館	184,670,121	184,670,121	0	0	0	0	0	0
地域福祉活動推進事業	3,585,802	3,585,802	0	0	0	0	0	0
小地域ネットワーク事業	39,870,234	39,870,234	0	0	0	0	0	0
在宅福祉活動推進事業	3,417,185	3,417,185	0	0	0	0	0	0
善意銀行事業	677,690	677,690	0	0	0	0	0	0
共同募金分配金事業	5,545,229	5,545,229	0	0	0	0	0	0
ボランティアセンター管理運営事業	15,512,275	15,512,275	0	0	0	0	0	0
ふれあい見守り事業	1,301,004	1,301,004	0	0	0	0	0	0
在宅高齢者福祉対策事業	491,000	491,000	0	0	0	0	0	0
行旅死亡人追悼法要事業	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0
資金貸付事業	43,704,408	43,704,408	0	0	0	0	0	0
基金運営事業	17,923,297	17,923,297	0	0	0	0	0	0
総合福祉会館管理運営事業	52,591,997	52,591,997	0	0	0	0	0	0
北部総合福祉会館	101,485,669	101,485,669	0	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000
北部総合福祉会館管理運営事業	65,995,144	65,995,144	0	10,000,000	0	10,000,000		10,000,000
地域福祉総合相談員事業	5,241,563	5,241,563	0	0	0	0	0	0
福祉サービス利用支援事業	17,630,962	17,630,962	0	0	0	0	0	0
成年後見中核機関運営事業	12,618,000	12,618,000	0	0	0	0	0	0
高齢者支援事業	128,165,588	127,880,473	285,115	19,714,885	0	19,714,885	0	20,000,000
第1圏域介護予防支援事業	10,115,857	10,115,857	0	0	0	0	0	0
居宅介護支援事業	18,954,910	18,669,795	285,115	△ 285,115	0	△ 285,115	0	0
訪問介護事業	20,711,233	20,711,233	0	20,000,000	0	20,000,000	0	20,000,000
第1圏域地域包括支援センター事業	27,000,000	27,000,000	0	0	0	0	0	0
基幹型地域包括支援センター事業	9,359,759	9,359,759	0	0	0	0	0	0
生活支援コーディネーター配置事業	6,000,000	6,000,000	0	0	0	0	0	0
第1圏域認知症地域支援推進員事業	3,000,000	3,000,000	0	0	0	0	0	0
第1圏地域出張型介護予防事業	200,000	200,000	0	0	0	0	0	0
要介護認定調査事業	32,823,829	32,823,829	0	0	0	0	0	0
障がい者支援事業	142,666,159	142,666,159	0	30,000,000	0	30,000,000	0	30,000,000
障がい者福祉サービス等事業	64,319,315	64,319,315	0	30,000,000	0	30,000,000	0	30,000,000
障がい者サービス等利用計画作成事業	10,490,577	10,490,577	0	0	0	0	0	0
基幹相談支援センター事業	58,851,175	58,851,175	0	0	0	0	0	0
障がい者地域活動支援センター事業	9,005,092	9,005,092	0	0	0	0	0	0
合　　計	699,641,035	705,295,681	△ 5,654,646	91,256,960	0	91,256,960	0	85,602,314

※ 各拠点・サービス区分の収入額については、各拠点区分資金収支明細書の「事業活動収入計（1）」・「施設整備等収入計（4）」・「その他の活動収入計（7）」を合計します（1＋4＋7）。支出額についても、「事業活動支出計（2）」・「施設整備等支出計（5）」・「その他の活動支出計（8）」を合計します（2＋5＋8）。

法人単位資金収支計算書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	会費収入	5,402,000	5,422,760	△ 20,760	
		寄附金収入	500,000	605,432	△ 105,432	
		経常経費補助金収入	126,950,000	118,702,233	8,247,767	
		受託金収入	371,774,000	345,449,877	26,324,123	
		事業収入	1,317,000	1,042,291	274,709	
		負担金収入	962,000	650,500	311,500	
		介護保険事業収入	55,138,000	43,305,832	11,832,168	
		障がい福祉サービス等事業収入	77,686,000	67,731,510	9,954,490	
		受取利息配当金収入	317,000	534,363	△ 217,363	
		その他の収入	1,115,000	1,275,035	△ 160,035	
		事業活動収入計(1)	641,161,000	584,719,833	56,441,167	
	支出	人件費支出	473,677,000	437,360,412	36,316,588	
		事業費支出	59,603,000	50,770,131	8,832,869	
		事務費支出	87,039,000	74,255,605	12,783,395	
		分担金支出	310,000	310,000	0	
		助成金支出	20,042,000	17,826,288	2,215,712	
		負担金支出	53,000	33,000	20,000	
		事業活動支出計(2)	640,724,000	580,555,436	60,168,564	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		437,000	4,164,397	△ 3,727,397	
施設整備等による収支	収入					
		施設整備等収入計(4)				
	支出	固定資産取得支出	368,000	1,157,200	△ 789,200	
		施設整備等支出計(5)	368,000	1,157,200	△ 789,200	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 368,000	△ 1,157,200	789,200	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	11,282,000	82,170,217	△ 70,888,217	
		その他の活動収入計(7)	11,282,000	82,170,217	△ 70,888,217	
	支出	積立資産支出	9,351,000	90,832,060	△ 81,481,060	
		その他の活動支出計(8)	9,351,000	90,832,060	△ 81,481,060	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		1,931,000	△ 8,661,843	10,592,843	
予備費支出(10)			2,000,000	—	2,000,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			0	△ 5,654,646	5,654,646	

前期末支払資金残高(12)		91,256,960	△ 91,256,960	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	85,602,314	△ 85,602,314	

社会福祉事業区分　資金収支内訳表
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			本部	総合福祉会館	北部総合福祉会館	高齢者支援事業	障がい者支援事業	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入	会費収入	5,422,760					5,422,760		5,422,760
		寄附金収入		605,432				605,432		605,432
		経常経費補助金収入	58,439,867	50,630,574	8,899,862	165,099	566,831	118,702,233		118,702,233
		受託金収入	820,197	111,077,281	91,739,000	73,204,290	68,609,109	345,449,877		345,449,877
		事業収入	276,191	10,000	756,100			1,042,291		1,042,291
		負担金収入		650,500				650,500		650,500
		介護保険事業収入				43,305,832		43,305,832		43,305,832
		障がい福祉サービス等事業収入					67,731,510	67,731,510		67,731,510
		受取利息配当金収入	274,040	260,323				534,363		534,363
		その他の収入	750,556	491,479		22,000	11,000	1,275,035		1,275,035
		事業活動収入計(1)	65,983,611	163,725,589	101,394,962	116,697,221	136,918,450	584,719,833		584,719,833
	支出	人件費支出	47,254,104	90,791,477	70,441,917	101,625,035	127,247,879	437,360,412		437,360,412
		事業費支出	1,639,662	31,429,025	14,529,131	670,441	2,501,872	50,770,131		50,770,131
		事務費支出	10,374,513	26,177,369	15,664,504	9,482,631	12,556,588	74,255,605		74,255,605
		分担金支出	310,000					310,000		310,000
		助成金支出		17,826,288				17,826,288		17,826,288
		負担金支出	30,000	3,000				33,000		33,000
		事業活動支出計(2)	59,608,279	166,227,159	100,635,552	111,778,107	142,306,339	580,555,436		580,555,436
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			6,375,332	△ 2,501,570	759,410	4,919,114	△ 5,387,889	4,164,397		4,164,397
施設整備等による収支	収入									
		施設整備等収入計(4)								
	支出	固定資産取得支出			374,000	783,200		1,157,200		1,157,200
		施設整備等支出計(5)			374,000	783,200		1,157,200		1,157,200
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					△ 374,000	△ 783,200		△ 1,157,200		△ 1,157,200
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	68,453,874	13,716,343				82,170,217		82,170,217
		拠点区分間繰入金収入	8,216,013	10,478,460	3,340,978		5,732,709	27,768,160	△ 27,768,160	0
		その他の活動収入計(7)	76,669,887	24,194,803	3,340,978	0	5,732,709	109,938,377	△ 27,768,160	82,170,217
	支出	積立資産支出	76,525,931	14,306,129				90,832,060		90,832,060
		拠点区分間繰入金支出	12,459,049	7,387,104	3,726,388	3,850,799	344,820	27,768,160	△ 27,768,160	0
		その他の活動支出計(8)	88,984,980	21,693,233	3,726,388	3,850,799	344,820	118,600,220	△ 27,768,160	90,832,060
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			△ 12,315,093	2,501,570	△ 385,410	△ 3,850,799	5,387,889	△ 8,661,843	0	△ 8,661,843
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)			△ 5,939,761	0	0	285,115	0	△ 5,654,646	0	△ 5,654,646

前期末支払資金残高(11)	31,542,075	0	10,000,000	19,714,885	30,000,000	91,256,960		91,256,960
当期末支払資金残高(10)+(11)	25,602,314	0	10,000,000	20,000,000	30,000,000	85,602,314	0	85,602,314

本部拠点区分　資金収支明細書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

社会福祉法人名　社会福祉法人　和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

	勘定科目	サービス区分 法人運営事業(総合福祉会館)	合計	内部取引消去	拠点区分合計					
事業活動による収支 収入	会費収入	5,422,760	5,422,760		5,422,760					
	一般会費収入	5,384,760	5,384,760		5,384,760					
	その他会費収入	38,000	38,000		38,000					
	経常経費補助金収入	58,439,867	58,439,867		58,439,867					
	市補助金収入	58,439,867	58,439,867		58,439,867					
	法人運営事業補助金収入	58,439,867	58,439,867		58,439,867					
	受託金収入	820,197	820,197		820,197					
	市受託金収入	670,197	670,197		670,197					
	こどもの居場所づくり事業受託金収入	670,197	670,197		670,197					
	地区募金会受託金収入	150,000	150,000		150,000					
	共同募金事務費収入	150,000	150,000		150,000					
	事業収入	276,191	276,191		276,191					
	広告料収入	276,191	276,191		276,191					
	受取利息配当金収入	274,040	274,040		274,040					
	受取利息配当金収入	109,150	109,150		109,150					
	退職積立金受取利息配当金収入	164,890	164,890		164,890					
	その他の収入	750,556	750,556		750,556					
	受入研修費収入	182,500	182,500		182,500					
	雑収入	568,056	568,056		568,056					
	事業活動収入計(1)	65,983,611	65,983,611		65,983,611					
事業活動による収支 支出	人件費支出	47,254,104	47,254,104		47,254,104					
	役員報酬支出	540,000	540,000		540,000					
	職員給料支出	23,946,626	23,946,626		23,946,626					
	職員俸給	18,371,700	18,371,700		18,371,700					
	職員諸手当	5,574,926	5,574,926		5,574,926					
	職員賞与支出	7,573,413	7,573,413		7,573,413					
	準職員賃金支出	3,114,329	3,114,329		3,114,329					
	臨時職員賃金支出	4,421,773	4,421,773		4,421,773					
	退職給付支出	1,423,966	1,423,966		1,423,966					
	法定福利費支出	6,233,997	6,233,997		6,233,997					
	事業費支出	1,639,662	1,639,662		1,639,662					
	保険料支出	535,980	535,980		535,980					
	賃借料支出	42,900	42,900		42,900					
	車輌費支出	232,925	232,925		232,925					
	諸謝金支出	92,000	92,000		92,000					
	委員等旅費交通費支出	118,100	118,100		118,100					
	広報費支出	552,477	552,477		552,477					
	手数料支出	65,280	65,280		65,280					
	事務費支出	10,374,513	10,374,513		10,374,513					
	福利厚生費支出	1,706,060	1,706,060		1,706,060					
	職員被服費支出	353,870	353,870		353,870					
	旅費交通費支出	286,200	286,200		286,200					
	役員等旅費交通費支出	134,000	134,000		134,000					
	職員等旅費交通費支出	152,200	152,200		152,200					
	研修研究費支出	1,144,600	1,144,600		1,144,600					
	職員等研修研究費支出	1,144,600	1,144,600		1,144,600					
	事務消耗品費支出	5,904	5,904		5,904					
	通信運搬費支出	388,742	388,742		388,742					
	会議費支出	32,872	32,872		32,872					
	業務委託費支出	2,142,274	2,142,274		2,142,274					
	手数料支出	294,509	294,509		294,509					
	保険料支出	596,088	596,088		596,088					
	賃借料支出	460,020	460,020		460,020					
	土地・建物賃借料支出	1,774,774	1,774,774		1,774,774					
	租税公課支出	48,400	48,400		48,400					
	渉外費支出	28,000	28,000		28,000					
	諸会費支出	132,400	132,400		132,400					
	七団体連絡調整費支出	99,800	99,800		99,800					

		雑支出	880,000	880,000		880,000					
		分担金支出	310,000	310,000		310,000					
		分担金支出	310,000	310,000		310,000					
		負担金支出	30,000	30,000		30,000					
		負担金支出	30,000	30,000		30,000					
		事業連絡会等会費支出	30,000	30,000		30,000					
		事業活動支出計(2)	59,608,279	59,608,279		59,608,279					
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		6,375,332	6,375,332		6,375,332					
施設整備等による収支	収入										
		施設整備等収入計(4)									
	支出										
		施設整備等支出計(5)									
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)										
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	68,453,874	68,453,874		68,453,874					
		退職給付引当資産取崩収入	1,303,966	1,303,966		1,303,966					
		備品購入積立資産取崩収入	12,012,772	12,012,772		12,012,772					
		運用財産積立資産取崩収入	990,000	990,000		990,000					
		事業安定化基金積立資産取崩収入	54,147,136	54,147,136		54,147,136					
		拠点区分間繰入金収入	8,216,013	8,216,013		8,216,013					
		サービス区分間繰入金収入	9,347,220	9,347,220	△ 9,347,220	0					
		(本部会計)サービス区分間繰入金収入	9,347,220	9,347,220	△ 9,347,220	0					
		その他の活動収入計(7)	86,017,107	86,017,107	△ 9,347,220	76,669,887					
	支出	積立資産支出	76,525,931	76,525,931		76,525,931					
		退職給付引当資産支出	10,256,930	10,256,930		10,256,930					
		備品購入積立資産支出	12,024,371	12,024,371		12,024,371					
		運用財産積立資産支出	45,209	45,209		45,209					
		事業安定化基金積立資産支出	54,199,421	54,199,421		54,199,421					
		拠点区分間繰入金支出	12,459,049	12,459,049		12,459,049					
		サービス区分間繰入金支出	9,347,220	9,347,220	△ 9,347,220	0					
		(本部会計)サービス区分間繰入金支出	9,347,220	9,347,220	△ 9,347,220	0					
		その他の活動支出計(8)	98,332,200	98,332,200	△ 9,347,220	88,984,980					
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 12,315,093	△ 12,315,093	0	△ 12,315,093					
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)			△ 5,939,761	△ 5,939,761	0	△ 5,939,761					

前期末支払資金残高(11)	31,542,075	31,542,075		31,542,075					
当期末支払資金残高(10)+(11)	25,602,314	25,602,314	0	25,602,314					

総合福祉会館拠点区分　資金収支明細書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

社会福祉法人名　社会福祉法人　和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

	勘定科目	サービス区分								
		地域福祉活動推進事業	小地域ネットワーク事業	在宅福祉活動推進事業	善意銀行事業	共同募金分配金事業	ボランティアセンター管理運営事業	在宅高齢者福祉対策事業	行旅死亡人追悼法要事業	資金貸付事業
収入	寄附金収入				605,432					
	寄附金収入				605,432					
	経常経費補助金収入	1,147,422	39,870,234	2,766,685		5,545,229				
	市補助金収入	1,147,422	39,870,234	2,766,685						
	小地域ﾈｯﾄﾜｰｸ活動推進事業補助金収入		39,870,234							
	おせち料理配食ｻｰﾋﾞｽ事業補助金収入			256,275						
	心身障がい児訓練事業補助金収入			1,932,410						
	地域福祉推進事業補助金収入	279,224								
	地域福祉活動支援事業補助金収入	868,198								
	ふれあい見守り事業補助金収入									
	健康サロン事業補助金収入			578,000						
	共同募金配分金収入					5,545,229				
	一般募金配分金収入					3,898,405				
	歳末たすけあい配分金事業補助金収入					1,646,824				
	受託金収入						15,044,797	491,000	40,000	43,667,484
	市受託金収入						15,044,797	491,000	40,000	
	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ管理運営事業受託金収入						15,044,797			
	在宅高齢者福祉対策事業受託金収入							491,000		
	行旅死亡人追悼法要事業受託金収入								40,000	
	総合福祉会館指定管理料収入									
	府社協受託金収入									43,667,484
	民生委員実費弁償費収入									692,484
	生活福祉資金事務費収入									85,000
	小口生活資金事務費収入									138,000
	市区町村社協体制整備費収入									6,752,000
	コロナ特例債権管理事務費収入									36,000,000
	事業収入								10,000	
	手数料収入								10,000	
	負担金収入			650,500						
	負担金収入			650,500						
	おせち料理配食負担金収入			415,000						
	障がい児ﾘﾊﾋﾞﾘ負担金収入			235,500						
	受取利息配当金収入				48,257					
	受取利息配当金収入				48,257					
	その他の収入				24,001		467,478			
	雑収入				24,001		467,478			
	事業活動収入計(1)	1,147,422	39,870,234	3,417,185	677,690	5,545,229	15,512,275	491,000	50,000	43,667,484
事業活動による収支	人件費支出		26,125,931				6,654,127			35,316,245
	職員給料支出		14,613,822							15,354,870
	職員俸給		11,526,000							11,033,070
	職員諸手当		3,087,822							4,321,800
	職員賞与支出		4,841,684							4,735,938
	準職員賃金支出		3,095,261				0			3,001,030
	臨時職員賃金支出						5,702,126			7,614,190
	退職給付支出									
	法定福利費支出		3,575,164				952,001			4,610,217
	事業費支出	31,000	246,329	3,300,490		3,319,984	4,552,388	450,000	40,000	2,676,779
	水道光熱費支出						621,902			
	消耗器具備品費支出		75,379	44,168		1,180,271	148,081			
	保険料支出					58,800	4,800			
	賃借料支出	31,000	10,950			172,240	215,475			
	車輌費支出									99,375
	諸謝金支出		160,000	2,596,000		221,000	3,498,800			
	委員等旅費交通費支出						45,540	450,000		
	印刷製本費支出					97,141	17,790			
	業務委託費支出			660,322		51,194			40,000	
	広報費支出					1,278,654				1,553,500
	研修費支出					50,500				

支出	手数料支出					210,184					1,023,904
	事務費支出	291,088	1,397,508	116,695	168,770	124,937	4,166,560	41,000	4,990		5,514,449
	福利厚生費支出		44,000				17,600				63,888
	旅費交通費支出		510,620		900	47,400	365,230		900		11,300
	役員等旅費交通費支出		448,100			37,000	353,000				
	職員等旅費交通費支出		62,520		900	10,400	12,230		900		11,300
	研修研究費支出		3,250		150,885	26,500	2,500				
	役員等研修研究費支出				150,885	26,500					
	職員等研修研究費支出		3,250				2,500				
	事務消耗品費支出	9,826	21,771	9,843	6,895	1,697	271,749				1,145,227
	印刷製本費支出	183,602	391,114				164,463				823,562
	燃料費支出										
	修繕費支出						84,325				
	通信運搬費支出	5,212	426,550	15,772	5,170	34,512	340,935	0			1,138,272
	会議費支出	92,448				14,828	70,498				
	業務委託費支出			91,080			764,100				637,450
	手数料支出		203		4,920		42,140				271,810
	保険料支出						12,960				143,724
	賃借料支出					0	411,831				1,278,816
	租税公課支出						1,293,289	41,000	4,090		400
	保守料支出						324,940				
	助成金支出	3,263,714	12,070,466		131,200	2,100,308	136,200				
	助成金支出	3,263,714	12,070,466		131,200	2,100,308	136,200				
	校区社協助成金支出		6,994,466								
	その他助成金支出	3,263,714	5,076,000		131,200	2,100,308	136,200				
	負担金支出						3,000				
	負担金支出						3,000				
	事業連絡会等会費支出						3,000				
	事業活動支出計(2)	3,585,802	39,840,234	3,417,185	299,970	5,545,229	15,512,275	491,000	44,990		43,507,473
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 2,438,380	30,000	0	377,720	0	0	0	5,010		160,011
施設整備等による収支 収入											
	施設整備等収入計(4)										
支出											
	施設整備等支出計(5)										
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)											
その他の活動による収支 収入	積立資産取崩収入										
	災害基金積立資産取崩収入										
	拠点区分間繰入金収入	2,438,380									36,924
	その他の活動収入計(7)	2,438,380									36,924
支出	積立資産支出				377,720						
	善意銀行積立資産支出				342,270						
	障がい者基金積立資産支出				35,450						
	社会福祉基金積立資産支出										
	災害基金積立資産支出										
	拠点区分間繰入金支出		30,000						5,010		196,935
	その他の活動支出計(8)		30,000		377,720				5,010		196,935
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		2,438,380	△ 30,000		△ 377,720				△ 5,010		△ 160,011
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		0	0	0	0	0	0	0	0		0
前期末支払資金残高(11)		0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期末支払資金残高(10)+(11)		0	0	0	0	0	0	0	0		0

総合福祉会館拠点区分　資金収支明細書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

	勘定科目	サービス区分					合計	内部取引消去	拠点区分合計	
		基金運営事業	総合福祉会館管理運営事業	ふれあい見守り事業	福祉サービス利用支援事業	成年後見中核機関運営事業				
事業活動による収支 収入	寄附金収入						605,432		605,432	
	寄附金収入						605,432		605,432	
	経常経費補助金収入			1,301,004			50,630,574		50,630,574	
	市補助金収入			1,301,004			45,085,345		45,085,345	
	小地域ﾈｯﾄﾜｰｸ活動推進事業補助金収入						39,870,234		39,870,234	
	おせち料理配食ｻｰﾋﾞｽ事業補助金収入						256,275		256,275	
	心身障がい児訓練事業補助金収入						1,932,410		1,932,410	
	地域福祉推進事業補助金収入						279,224		279,224	
	地域福祉活動支援事業補助金収入						868,198		868,198	
	ふれあい見守り事業補助金収入			1,301,004			1,301,004		1,301,004	
	健康サロン事業補助金収入						578,000		578,000	
	共同募金配分金収入						5,545,229		5,545,229	
	一般募金配分金収入						3,898,405		3,898,405	
	歳末たすけあい配分金事業補助金収入						1,646,824		1,646,824	
	受託金収入		51,834,000				111,077,281		111,077,281	
	市受託金収入		51,834,000				67,409,797		67,409,797	
	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ管理運営事業受託金収入						15,044,797		15,044,797	
	在宅高齢者福祉対策事業受託金収入						491,000		491,000	
	行旅死亡人追悼法要事業受託金収入						40,000		40,000	
	総合福祉会館指定管理料収入		51,834,000				51,834,000		51,834,000	
	府社協受託金収入						43,667,484		43,667,484	
	民生委員実費弁償費収入						692,484		692,484	
	生活福祉資金事務費収入						85,000		85,000	
	小口生活資金事務費収入						138,000		138,000	
	市区町村社協体制整備費収入						6,752,000		6,752,000	
	コロナ特例債権管理事務費収入						36,000,000		36,000,000	
	事業収入						10,000		10,000	
	手数料収入						10,000		10,000	
	負担金収入						650,500		650,500	
	負担金収入						650,500		650,500	
	おせち料理配食負担金収入						415,000		415,000	
	障がい児ﾘﾊﾋﾞﾘ負担金収入						235,500		235,500	
	受取利息配当金収入	212,066					260,323		260,323	
	受取利息配当金収入	212,066					260,323		260,323	
	その他の収入						491,479		491,479	
	雑収入						491,479		491,479	
	事業活動収入計(1)	212,066	51,834,000	1,301,004			163,725,589		163,725,589	
	人件費支出		22,695,174				90,791,477		90,791,477	
	職員給料支出		4,995,469				34,964,161		34,964,161	
	職員俸給		3,861,600				26,420,670		26,420,670	
	職員諸手当		1,133,869				8,543,491		8,543,491	
	職員賞与支出		1,718,140				11,295,762		11,295,762	
	準職員賃金支出		3,086,614				9,182,905		9,182,905	
	臨時職員賃金支出		9,633,952				22,950,268		22,950,268	
	退職給付支出		120,000				120,000		120,000	
	法定福利費支出		3,140,999				12,278,381		12,278,381	
	事業費支出		15,965,014	847,041			31,429,025		31,429,025	
	水道光熱費支出		8,831,096				9,452,998		9,452,998	
	消耗器具備品費支出		188,987	26,100			1,662,986		1,662,986	
	保険料支出						63,600		63,600	
	賃借料支出		15,050				444,715		444,715	
	車輌費支出						99,375		99,375	
	諸謝金支出		5,439,540				11,915,340		11,915,340	
	委員等旅費交通費支出		900				496,440		496,440	
	印刷製本費支出			64,185			179,116		179,116	
	業務委託費支出		598,365	756,756			2,106,637		2,106,637	
	広報費支出		264,000				3,096,154		3,096,154	
	研修費支出		373,628				424,128		424,128	

支出	手数料支出		253,448				1,487,536		1,487,536	
	事務費支出		14,017,109	334,263			26,177,369		26,177,369	
	福利厚生費支出		52,800				178,288		178,288	
	旅費交通費支出		4,340				940,690		940,690	
	役員等旅費交通費支出						838,100		838,100	
	職員等旅費交通費支出		4,340				102,590		102,590	
	研修研究費支出		8,000				191,135		191,135	
	役員等研修研究費支出						177,385		177,385	
	職員等研修研究費支出		8,000				13,750		13,750	
	事務消耗品費支出		429,380	326,103			2,222,491		2,222,491	
	印刷製本費支出		242,346				1,805,087		1,805,087	
	燃料費支出		4,396				4,396		4,396	
	修繕費支出		931,062				1,015,387		1,015,387	
	通信運搬費支出		383,726	3,260			2,353,409		2,353,409	
	会議費支出						177,774		177,774	
	業務委託費支出		11,573,019				13,065,649		13,065,649	
	手数料支出		190,370				509,443		509,443	
	保険料支出		34,070	3,900			194,654		194,654	
	賃借料支出		158,400				1,849,047		1,849,047	
	租税公課支出		5,200	1,000			1,344,979		1,344,979	
	保守料支出						324,940		324,940	
	助成金支出		4,700	119,700			17,826,288		17,826,288	
	助成金支出		4,700	119,700			17,826,288		17,826,288	
	校区社協助成金支出						6,994,466		6,994,466	
	その他助成金支出		4,700	119,700			10,831,822		10,831,822	
	負担金支出						3,000		3,000	
	負担金支出						3,000		3,000	
	事業連絡会等会費支出						3,000		3,000	
	事業活動支出計(2)		52,681,997	1,301,004			166,227,159		166,227,159	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		212,066	△ 847,997	0			△ 2,501,570		△ 2,501,570	
施設整備等による収支 収入										
	施設整備等収入計(4)									
施設整備等による収支 支出										
	施設整備等支出計(5)									
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)										
その他の活動による収支 収入	積立資産取崩収入	13,716,343					13,716,343		13,716,343	
	災害基金積立資産取崩収入	13,716,343					13,716,343		13,716,343	
	拠点区分間繰入金収入	3,994,888	757,997		2,847,876	402,395	10,478,460		10,478,460	
	その他の活動収入計(7)	17,711,231	757,997		2,847,876	402,395	24,194,803		24,194,803	
その他の活動による収支 支出	積立資産支出	13,928,409					14,306,129		14,306,129	
	善意銀行積立資産支出						342,270		342,270	
	障がい者基金積立資産支出						35,450		35,450	
	社会福祉基金積立資産支出	198,822					198,822		198,822	
	災害基金積立資産支出	13,729,587					13,729,587		13,729,587	
	拠点区分間繰入金支出	3,994,888	△ 90,000		2,847,876	402,395	7,387,104		7,387,104	
	その他の活動支出計(8)	17,923,297	△ 90,000		2,847,876	402,395	21,693,233		21,693,233	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 212,066	847,997		0	0	2,501,570		2,501,570	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		0	0	0	0	0	0		0	

前期末支払資金残高(11)	0	0	0	0	0	0		0	
当期末支払資金残高(10)+(11)	0	0	0	0	0	0		0	

北部総合福祉会館拠点区分　資金収支明細書
（自）令和 7年 4月 1日（至）令和 8年 3月31日

社会福祉法人名　社会福祉法人　和泉市社会福祉協議会

（単位：円）

	勘定科目	サービス区分 北部総合福祉会館管理運営事業	地域福祉総合相談員事業	福祉サービス利用支援事業	成年後見中核機関運営事業	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
事業活動による収支 収入	経常経費補助金収入			8,899,862		8,899,862		8,899,862	
	市補助金収入			8,899,862		8,899,862		8,899,862	
	日常生活支援事業補助金収入			8,899,862		8,899,862		8,899,862	
	受託金収入	65,926,000	5,220,000	7,975,000	12,618,000	91,739,000		91,739,000	
	市受託金収入	65,926,000	5,220,000		12,618,000	83,764,000		83,764,000	
	北部総合福祉会館指定管理料収入	65,926,000				65,926,000		65,926,000	
	地域福祉総合相談員事業受託金収入		3,350,000			3,350,000		3,350,000	
	生活困窮者自立相談支援事業受託金収入		1,870,000			1,870,000		1,870,000	
	成年後見中核機関運営事業受託金収入				12,618,000	12,618,000		12,618,000	
	府社協受託金収入			7,975,000		7,975,000		7,975,000	
	日常生活支援事業受託金収入			7,975,000		7,975,000		7,975,000	
	事業収入			756,100		756,100		756,100	
	利用料収入			756,100		756,100		756,100	
	事業活動収入計(1)	65,926,000	5,220,000	17,630,962	12,618,000	101,394,962		101,394,962	
支出	人件費支出	41,095,053	4,723,564	15,593,478	9,029,822	70,441,917		70,441,917	
	職員給料支出	19,350,057		4,175,302	4,483,019	28,008,378		28,008,378	
	職員俸給	13,923,540		3,135,300	3,871,800	20,930,640		20,930,640	
	職員諸手当	5,426,517		1,040,002	611,219	7,077,738		7,077,738	
	職員賞与支出	6,155,514		1,342,880	1,670,478	9,168,872		9,168,872	
	準職員賃金支出	1,560,961	3,115,700	6,157,464	416,515	11,250,640		11,250,640	
	臨時職員賃金支出	8,039,641	956,799	1,788,438	1,138,221	11,923,099		11,923,099	
	退職給付支出	240,000			96,000	336,000		336,000	
	法定福利費支出	5,748,880	651,065	2,129,394	1,225,589	9,754,928		9,754,928	
	事業費支出	12,880,905	12,830	560,885	1,074,511	14,529,131		14,529,131	
	保健衛生費支出	31,752				31,752		31,752	
	水道光熱費支出	7,627,902				7,627,902		7,627,902	
	消耗器具備品費支出	1,990,034				1,990,034		1,990,034	
	保険料支出		2,830	16,260		19,090		19,090	
	賃借料支出	16,104			78,040	94,144		94,144	
	車輌費支出			369,809	46,471	416,280		416,280	
	諸謝金支出	2,581,340	10,000		246,000	2,837,340		2,837,340	
	業務委託費支出	177,125			704,000	881,125		881,125	
	広報費支出	264,000		140,000		404,000		404,000	
	手数料支出	192,648		34,816		227,464		227,464	
	事務費支出	11,487,069	485,169	1,269,599	2,422,667	15,664,504		15,664,504	
	福利厚生費支出	67,232	12,056	39,600	22,000	140,888		140,888	
	旅費交通費支出	10,100	10,060	35,380	24,280	79,820		79,820	
	職員等旅費交通費支出	10,100	10,060	35,380	24,280	79,820		79,820	
	研修研究費支出	8,000				8,000		8,000	
	職員等研修研究費支出	8,000				8,000		8,000	
	事務消耗品費支出	547,722	51,849	61,355	159,596	820,522		820,522	
	印刷製本費支出	128,656	108,152	108,149	575,273	920,230		920,230	
	燃料費支出	1,175				1,175		1,175	
	修繕費支出	1,683,308				1,683,308		1,683,308	
	通信運搬費支出	564,226	95,166	272,632	140,180	1,072,204		1,072,204	
	会議費支出				6,658	6,658		6,658	
	業務委託費支出	8,056,669				8,056,669		8,056,669	
	手数料支出	340,579	6,134	101,284	37,044	485,041		485,041	
	保険料支出	42,250		193,747	72,036	308,033		308,033	
	賃借料支出	31,752	31,752	449,752	237,600	750,856		750,856	
	租税公課支出	5,400	170,000	7,700	1,148,000	1,331,100		1,331,100	
	事業活動支出計(2)	65,463,027	5,221,563	17,423,962	12,527,000	100,635,552		100,635,552	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		462,973	△ 1,563	207,000	91,000	759,410		759,410	

施設整備等による収支	収入									
		施設整備等収入計(4)								
	支出	固定資産取得支出			187,000	187,000	374,000		374,000	
		器具及び備品取得支出			187,000	187,000	374,000		374,000	
		施設整備等支出計(5)			187,000	187,000	374,000		374,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				△ 187,000	△ 187,000	△ 374,000		△ 374,000	
その他の活動による収支	収入	拠点区分間繰入金収入	69,144	21,563	2,847,876	402,395	3,340,978		3,340,978	
		その他の活動収入計(7)	69,144	21,563	2,847,876	402,395	3,340,978		3,340,978	
	支出	拠点区分間繰入金支出	532,117	20,000	2,867,876	306,395	3,726,388		3,726,388	
		その他の活動支出計(8)	532,117	20,000	2,867,876	306,395	3,726,388		3,726,388	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 462,973	1,563	△ 20,000	96,000	△ 385,410		△ 385,410	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)			0	0	0	0	0		0	

前期末支払資金残高(11)	10,000,000	0			10,000,000		10,000,000	
当期末支払資金残高(10)+(11)	10,000,000	0	0	0	10,000,000		10,000,000	

高齢者支援事業拠点区分　資金収支明細書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

社会福祉法人名　社会福祉法人　和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

	勘定科目	サービス区分 第1圏域介護予防支援事業	居宅介護支援事業	訪問介護事業	第1圏域地域包括支援センター事業	基幹型包括支援センター事業	生活支援コーディネーター配置事業	第1圏域認知症地域支援推進員事業	第1圏域地域出張型介護予防事業
事業活動による収支 収入	経常経費補助金収入			165,099					
	都道府県補助金収入			165,099					
	大阪府人材確保補助金収入			165,099					
	受託金収入				27,000,000	6,000,000	6,000,000	3,000,000	200,000
	市受託金収入				27,000,000	6,000,000	6,000,000	3,000,000	200,000
	地域包括支援センター事業受託金収入				27,000,000				
	基幹型地域包括支援センター事業受託金収入					6,000,000			
	地域出張型介護予防事業受託金収入								200,000
	要介護認定調査事業受託金収入								
	生活支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ配置事業受託金収入						6,000,000		
	認知症推進員事業受託金収入							3,000,000	
	介護保険事業収入	10,104,857	12,665,841	20,535,134					
	居宅介護料収入(訪問介護)			20,535,134					
	(介護報酬収入)			19,232,561					
	介護報酬収入			19,232,561					
	(利用者負担金収入)			1,302,573					
	利用者負担金収入(一般)			1,302,573					
	居宅介護支援介護料収入	10,104,857	12,665,841						
	居宅介護支援介護料収入		12,073,569						
	介護予防支援介護料収入	10,104,857	592,272						
	その他の収入	11,000		11,000					
	雑収入	11,000		11,000					
	事業活動収入計(1)	10,115,857	12,665,841	20,711,233	27,000,000	6,000,000	6,000,000	3,000,000	200,000
事業活動による収支 支出	人件費支出	7,865,612	8,180,031	15,063,976	26,183,440	9,216,149	5,153,758	2,798,505	
	職員給料支出		78,600		10,928,821	6,043,691	3,337,964	1,781,221	
	職員俸給				9,355,269	4,314,900	2,806,800	1,548,450	
	職員諸手当		78,600		1,573,552	1,728,791	531,164	232,771	
	職員賞与支出				3,421,765	1,944,154	1,149,392	634,590	
	準職員賃金支出			3,788,700	3,698,232				
	臨時職員賃金支出	6,775,244	6,944,612	10,315,362	4,583,086				
	法定福利費支出	1,090,368	1,156,819	959,914	3,551,536	1,228,304	666,402	382,694	
	事業費支出	48,701	34,580	103,520	51,100	9,080	9,080		
	消耗器具備品費支出	11,418			12,300				
	保険料支出	18,760	34,580	9,520	36,300	9,080	9,080		
	車輌費支出	18,523	0	3,900	2,500				
	諸謝金支出			88,000					
	手数料支出			2,100					
	事務費支出	354,426	1,289,293	1,644,773	392,938	134,530	332,959	148,093	70,701
	福利厚生費支出	17,600	17,600	14,344	48,400	8,800	8,800	4,400	
	旅費交通費支出	980	7,840		11,600	300	6,140	6,400	
	職員等旅費交通費支出	980	7,840		11,600	300	6,140	6,400	
	研修研究費支出	1,720	38,000		1,500		7,920	38,000	
	職員等研修研究費支出	1,720	38,000		1,500		7,920	38,000	
	事務消耗品費支出	72,144	0	143,350	64,616	6,490	54,725	54,725	27,137
	印刷製本費支出	41,869	0	0	41,844	41,844	41,844	41,844	41,844
	修繕費支出			24,200					
	通信運搬費支出	174,317	380,964	67,273	203,774	39,540	175,374		1,720
	業務委託費支出			7,300					
	手数料支出	8,884	193,872	11,862	21,204	5,804	5,804	2,724	
	保険料支出	36,912	145,520	31,766					
	賃借料支出		31,752	1,068,330		31,752	32,352		
	土地・建物賃借料支出		414,518	276,348					
	租税公課支出		59,227						
	事業活動支出計(2)	8,268,739	9,503,904	16,812,269	26,627,478	9,359,759	5,495,797	2,946,598	70,701
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,847,118	3,161,937	3,898,964	372,522	△ 3,359,759	504,203	53,402	129,299

施設整備等による収支	収入									
		施設整備等収入計(4)								
	支出	固定資産取得支出		783,200						
		器具及び備品取得支出		783,200						
		施設整備等支出計(5)		783,200						
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			△ 783,200						
その他の活動による収支	収入	サービス区分間繰入金収入		6,289,069			3,359,759			
		(高齢者)サービス区分間繰入金収入		6,289,069			3,359,759			
		その他の活動収入計(7)		6,289,069			3,359,759			
	支出	拠点区分間繰入金支出		3,203,393	486,439	30,000				
		サービス区分間繰入金支出	1,847,118	5,179,298	3,412,525	342,522		504,203	53,402	129,299
		(高齢者)サービス区分間繰入金支出	1,847,118	5,179,298	3,412,525	342,522		504,203	53,402	129,299
		その他の活動支出計(8)	1,847,118	8,382,691	3,898,964	372,522		504,203	53,402	129,299
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 1,847,118	△ 2,093,622	△ 3,898,964	△ 372,522	3,359,759	△ 504,203	△ 53,402	△ 129,299
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)			0	285,115	0	0	0	0	0	0

前期末支払資金残高(11)	0	△ 285,115	20,000,000	0	0	0	0	0
当期末支払資金残高(10)+(11)	0	0	20,000,000	0	0	0	0	0

高齢者支援事業拠点区分　資金収支明細書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

(単位:円)

	勘定科目	サービス区分 要介護認定調査事業	合計	内部取引消去	拠点区分合計				
事業活動による収支	収入								
	経常経費補助金収入		165,099		165,099				
	都道府県補助金収入		165,099		165,099				
	大阪府人材確保補助金収入		165,099		165,099				
	受託金収入	31,004,290	73,204,290		73,204,290				
	市受託金収入	31,004,290	73,204,290		73,204,290				
	地域包括支援センター事業受託金収入		27,000,000		27,000,000				
	基幹型地域包括支援センター事業受託金収入		6,000,000		6,000,000				
	地域出張型介護予防事業受託金収入		200,000		200,000				
	要介護認定調査事業受託金収入	31,004,290	31,004,290		31,004,290				
	生活支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ配置事業受託金収入		6,000,000		6,000,000				
	認知症推進員事業受託金収入		3,000,000		3,000,000				
	介護保険事業収入		43,305,832		43,305,832				
	居宅介護料収入(訪問介護)		20,535,134		20,535,134				
	(介護報酬収入)		19,232,561		19,232,561				
	介護報酬収入		19,232,561		19,232,561				
	(利用者負担金収入)		1,302,573		1,302,573				
	利用者負担金収入(一般)		1,302,573		1,302,573				
	居宅介護支援介護料収入		22,770,698		22,770,698				
	居宅介護支援介護料収入		12,073,569		12,073,569				
	介護予防支援介護料収入		10,697,129		10,697,129				
	その他の収入		22,000		22,000				
	雑収入		22,000		22,000				
	事業活動収入計(1)	31,004,290	116,697,221		116,697,221				
	支出								
	人件費支出	27,163,564	101,625,035		101,625,035				
	職員給料支出	4,333,769	26,504,066		26,504,066				
	職員俸給	3,462,900	21,488,319		21,488,319				
	職員諸手当	870,869	5,015,747		5,015,747				
	職員賞与支出	1,574,090	8,723,991		8,723,991				
	準職員賃金支出	8,185,882	15,672,814		15,672,814				
	臨時職員賃金支出	9,433,263	38,051,567		38,051,567				
	法定福利費支出	3,636,560	12,672,597		12,672,597				
	事業費支出	414,380	670,441		670,441				
	消耗器具備品費支出	0	23,718		23,718				
	保険料支出		117,320		117,320				
	車輌費支出	414,380	439,303		439,303				
	諸謝金支出		88,000		88,000				
	手数料支出		2,100		2,100				
	事務費支出	5,114,918	9,482,631		9,482,631				
	福利厚生費支出	52,800	172,744		172,744				
	旅費交通費支出	42,810	76,070		76,070				
	職員等旅費交通費支出	42,810	76,070		76,070				
	研修研究費支出	236,334	323,474		323,474				
	職員等研修研究費支出	236,334	323,474		323,474				
	事務消耗品費支出	339,842	763,029		763,029				
	印刷製本費支出	108,148	359,237		359,237				
	修繕費支出		24,200		24,200				
	通信運搬費支出	309,353	1,352,315		1,352,315				
	業務委託費支出		7,300		7,300				
	手数料支出	2,724	252,878		252,878				
	保険料支出	297,642	511,840		511,840				
	賃借料支出	1,016,232	2,180,418		2,180,418				
	土地・建物賃借料支出		690,866		690,866				
	租税公課支出	2,709,033	2,768,260		2,768,260				
	事業活動支出計(2)	32,692,862	111,778,107		111,778,107				
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 1,688,572	4,919,114		4,919,114				

施設整備等による収支	収入									
		施設整備等収入計(4)								
	支出	固定資産取得支出		783,200		783,200				
		器具及び備品取得支出		783,200		783,200				
		施設整備等支出計(5)		783,200		783,200				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			△ 783,200		△ 783,200				
その他の活動による収支	収入	サービス区分間繰入金収入	1,819,539	11,468,367	△ 11,468,367	0				
		(高齢者)サービス区分間繰入金収入	1,819,539	11,468,367	△ 11,468,367	0				
		その他の活動収入計(7)	1,819,539	11,468,367	△ 11,468,367	0				
	支出	拠点区分間繰入金支出	130,967	3,850,799		3,850,799				
		サービス区分間繰入金支出		11,468,367	△ 11,468,367	0				
		(高齢者)サービス区分間繰入金支出		11,468,367	△ 11,468,367	0				
		その他の活動支出計(8)	130,967	15,319,166	△ 11,468,367	3,850,799				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		1,688,572	△ 3,850,799	0	△ 3,850,799				
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)			0	285,115	0	285,115				

前期末支払資金残高(11)	0	19,714,885		19,714,885					
当期末支払資金残高(10)+(11)	0	20,000,000	0	20,000,000					

障がい者支援事業拠点区分　資金収支明細書
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

社会福祉法人名　社会福祉法人　和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目		サービス区分 障がい者福祉サービス等事業	障がい者サービス等利用計画作成事業	基幹相談支援センター事業	障がい者地域活動支援センター事業	合計	内部取引消去	拠点区分合計		
事業活動による収支	収入 経常経費補助金収入	566,831				566,831		566,831		
	都道府県補助金収入	566,831				566,831		566,831		
	大阪府人材確保補助金収入	566,831				566,831		566,831		
	受託金収入		757,934	58,851,175	9,000,000	68,609,109		68,609,109		
	市受託金収入		757,934	58,851,175	9,000,000	68,609,109		68,609,109		
	障がい支援区分認定調査事業受託金収入		757,934			757,934		757,934		
	基幹相談支援センター事業受託金収入			58,851,175		58,851,175		58,851,175		
	障がい者地域活動支援ｾﾝﾀｰ事業受託金収入				9,000,000	9,000,000		9,000,000		
	障がい福祉サービス等事業収入	60,081,385	7,650,125			67,731,510		67,731,510		
	総合支援給付費収入	59,606,621	7,650,125			67,256,746		67,256,746		
	介護給付費等収入	59,606,621				59,606,621		59,606,621		
	サービス利用計画作成費収入		7,650,125			7,650,125		7,650,125		
	利用者負担金収入	474,764				474,764		474,764		
	その他の収入		11,000			11,000		11,000		
	雑収入		11,000			11,000		11,000		
	事業活動収入計(1)	60,648,216	8,419,059	58,851,175	9,000,000	136,918,450		136,918,450		
	支出 人件費支出	60,738,238	9,045,338	49,339,889	8,124,414	127,247,879		127,247,879		
	職員給料支出	6,230,231		23,143,073		29,373,304		29,373,304		
	職員俸給	3,834,090		16,586,015		20,420,105		20,420,105		
	職員諸手当	2,396,141		6,557,058		8,953,199		8,953,199		
	職員賞与支出	1,769,748		6,345,199		8,114,947		8,114,947		
	準職員賃金支出	3,941,772	7,782,670	8,130,417	3,104,848	22,959,707		22,959,707		
	臨時職員賃金支出	44,490,710		5,245,925	3,905,113	53,641,748		53,641,748		
	退職給付支出	120,000				120,000		120,000		
	法定福利費支出	4,185,777	1,262,668	6,475,275	1,114,453	13,038,173		13,038,173		
	事業費支出	305,290	87,885	1,804,289	304,408	2,501,872		2,501,872		
	保健衛生費支出				6,545	6,545		6,545		
	消耗器具備品費支出	22,264			175,603	197,867		197,867		
	保険料支出	37,480	8,880	42,030	5,620	94,010		94,010		
	車輌費支出	36,916	79,005	817,949		933,870		933,870		
	諸謝金支出	208,000		40,000	116,640	364,640		364,640		
	業務委託費支出			904,310		904,310		904,310		
	手数料支出	630				630		630		
	事務費支出	3,050,967	1,287,354	7,656,997	561,270	12,556,588		12,556,588		
	福利厚生費支出	449,680	22,000	105,600	22,000	599,280		599,280		
	旅費交通費支出	27,720	42,160	87,070		156,950		156,950		
	職員等旅費交通費支出	27,720	42,160	87,070		156,950		156,950		
	研修研究費支出		22,700	500		23,200		23,200		
	職員等研修研究費支出		22,700	500		23,200		23,200		
	事務消耗品費支出	470,924	0	341,019	144,546	956,489		956,489		
	印刷製本費支出	0	0	220,401	108,147	328,548		328,548		
	通信運搬費支出	300,005	238,442	536,485	236,236	1,311,168		1,311,168		
	業務委託費支出	363,700		514,305		878,005		878,005		
	手数料支出	169,484	11,964	43,644	18,589	243,681		243,681		
	保険料支出	118,900	66,936	344,628		530,464		530,464		
	賃借料支出	458,502	883,152	87,984	31,752	1,461,390		1,461,390		
	土地・建物賃借料支出	690,869				690,869		690,869		
	租税公課支出	400		5,375,361		5,375,761		5,375,761		
	雑支出	783				783		783		
	事業活動支出計(2)	64,094,495	10,420,577	58,801,175	8,990,092	142,306,339		142,306,339		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 3,446,279	△ 2,001,518	50,000	9,908	△ 5,387,889		△ 5,387,889		

施設整備等による収支	収入										
		施設整備等収入計(4)									
	支出										
		施設整備等支出計(5)									
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)										
その他の活動による収支	収入	拠点区分間繰入金収入	3,671,099	2,056,518		5,092	5,732,709		5,732,709		
		サービス区分間繰入金収入		15,000			15,000	△ 15,000	0		
		(障がい者)サービス区分間繰入金収入		15,000			15,000	△ 15,000	0		
		その他の活動収入計(7)	3,671,099	2,071,518		5,092	5,747,709	△ 15,000	5,732,709		
	支出	拠点区分間繰入金支出	224,820	70,000	50,000		344,820		344,820		
		サービス区分間繰入金支出				15,000	15,000	△ 15,000	0		
		(障がい者)サービス区分間繰入金支出				15,000	15,000	△ 15,000	0		
		その他の活動支出計(8)	224,820	70,000	50,000	15,000	359,820	△ 15,000	344,820		
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		3,446,279	2,001,518	△ 50,000	△ 9,908	5,387,889	0	5,387,889		
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)			0	0	0	0	0	0	0		

前期末支払資金残高(11)	30,000,000	0	0	0	30,000,000		30,000,000		
当期末支払資金残高(10)+(11)	30,000,000	0	0	0	30,000,000	0	30,000,000		

法人単位貸借対照表
令和 8年 3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	145,908,438	141,615,301	4,293,137	流動負債	85,511,046	72,959,463	12,551,583
現金預金	110,351,130	104,185,745	6,165,385	事業未払金	44,070,493	36,062,910	8,007,583
事業未収金	28,616,976	29,683,516	△ 1,066,540	預り金	2,432,879	2,616,324	△ 183,445
未収金	6,322,390	7,142,040	△ 819,650	職員預り金	2,952,245	3,320,792	△ 368,547
前払金	617,942	604,000	13,942	拠点区分間預り金	4,430	550	3,880
				前受金	9,343	0	9,343
				仮受金	71,224	5,865	65,359
				賞与引当金	25,204,922	22,601,122	2,603,800
				未払消費税等	10,765,510	8,351,900	2,413,610
固定資産	380,409,676	375,478,388	4,931,288	固定負債	73,639,885	63,654,327	9,985,558
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	退職給付引当金	73,513,336	63,527,778	9,985,558
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	長期預り金	126,549	126,549	0
その他の固定資産	377,409,676	372,478,388	4,931,288	負債の部合計	159,150,931	136,613,790	22,537,141
車輌運搬具	63,184	186,351	△ 123,167	純資産の部			
器具及び備品	6,127,806	7,980,562	△ 1,852,756	基本金	3,000,000	3,000,000	0
ソフトウェア	2,501,064	4,255,696	△ 1,754,632	第１号基本金	3,000,000	3,000,000	0
長期預り金積立資産	126,549	126,549	0	基金			
退職給付引当資産	78,473,440	69,520,476	8,952,964				
備品購入積立資産	13,106,693	13,095,094	11,599	その他の積立金	290,046,193	290,337,314	△ 291,121
運用財産積立資産	37,788,454	38,733,245	△ 944,791	備品購入積立金	13,106,693	13,095,094	11,599
事業安定化基金積立資産	55,607,136	55,554,851	52,285	運用財産積立金	37,788,454	38,733,245	△ 944,791
善意銀行積立資産	32,906,718	32,564,448	342,270	事業安定化基金積立金	55,607,136	55,554,851	52,285
障がい者基金積立資産	12,926,562	12,891,112	35,450	善意銀行積立金	32,906,718	32,564,448	342,270
社会福祉基金積立資産	123,994,287	123,795,465	198,822	障がい者基金積立金	12,926,562	12,891,112	35,450
災害基金積立資産	13,716,343	13,703,099	13,244	社会福祉基金積立金	123,994,287	123,795,465	198,822
その他の固定資産	71,440	71,440	0	災害基金積立金	13,716,343	13,703,099	13,244
				次期繰越活動増減差額	74,120,990	87,142,585	△ 13,021,595
				（うち当期活動増減差額）	△ 13,312,716	△ 5,892,600	△ 7,420,116
				純資産の部合計	367,167,183	380,479,899	△ 13,312,716
資産の部合計	526,318,114	517,093,689	9,224,425	負債及び純資産の部合計	526,318,114	517,093,689	9,224,425

財産目録

令和 8年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	110,351,130
普通預金		—		—	—	110,351,130
普通預金(本部会計)	いずみの農協　和泉	—	本部拠点事業用	—	—	23,113,121
普通預金(総合福祉会館)	いずみの農協　和泉	—	総合福祉会館拠点事業用	—	—	17,957,406
普通預金(福祉ｻｰﾋﾞｽ)	いずみの農協　和泉	—		—	—	94,704
普通預金(福祉ｻｰﾋﾞｽ)	いずみの農協　和泉	—		—	—	1,059,808
普通預金(北部総合福祉会館)	池田泉州　和泉	—	北部総合福祉会館拠点事業用	—	—	24,740,596
普通預金(北部／給与)	池田泉州　和泉	—	職員給与支払口座	—	—	3,108,822
普通預金(高齢者支援事業)	池田泉州　和泉	—	高齢者支援事業拠点用	—	—	12,086,688
普通預金(障がい者支援事業)	池田泉州　和泉	—	障がい者支援事業拠点用	—	—	27,199,985
普通預金(決済用)	いずみの農協　和泉	—	備品購入積立資産振替用等	—	—	990,000
事業未収金		—	令和8年3月分要介護認定調査受託料 他	—	—	28,616,976
未収金		—	令和8年3月分コピー利用料収入	—	—	6,322,390
前払金		—	令和8年度団体役員賠償責任補償制度保険料前払他	—	—	617,942
流動資産合計						145,908,438
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金	いずみの農協　和泉 普通	—		—	—	3,000,000
基本財産合計						3,000,000
(2) その他の固定資産						
車輌運搬具	ダイハツハイゼット 他25件	—	事業運営において利用者宅訪問等の移動時に必要であるため	11,092,756	11,029,572	63,184
器具及び備品	ヨドコウカーポート 他98件	—	管理事務を行うために必要な物品であるため	33,783,390	27,655,584	6,127,806
ソフトウェア	絆 障がい者福祉システム あすなろ台帳 他5件	—	請求事務を行うためのデータを管理するシステムが必要であるため	13,745,660	11,244,596	2,501,064
長期預り金積立資産	いずみの農協　和泉 普通	—	福祉サービス利用支援事業において事業契約者の死後の預り金を保管するため	—	—	126,549
退職給付引当資産	いずみの農協　和泉 普通（決済用）	—	正職員及び準職員の退職金に活用	—	—	35,630,048
	いずみの農協　和泉 普通（利息用）	—		—	—	126,250
	いずみの農協　和泉 定期	—		—	—	32,717,142
	みずほ証券　大阪府公募公債（グリーンボンド）	—		—	—	10,000,000
	小計					78,473,440
備品購入積立資産	いずみの農協　和泉 普通（決済用）	—	法人で活用する車両等備品取得のために活用	—	—	1,093,921
	いずみの農協　和泉 定期	—		—	—	12,012,772
	小計					13,106,693
運用財産積立資産	いずみの農協　和泉 普通（決済用）	—	本会の運営環境安定化を図るための補填財源として活用	—	—	7,318,856
	いずみの農協　和泉 定期	—		—	—	20,129,602
	ゆうちょ銀行　普通	—		—	—	996
	ゆうちょ銀行　定期	—		—	—	10,339,000
	小計					37,788,454
事業安定化基金積立資産	いずみの農協　和泉 普通　（事業安定）	—	法人全体の経営の安定化を図るため、赤字が生じた場合の補填として活用	—	—	1,460,000
	いずみの農協　和泉 定期　（事業安定）	—		—	—	17,164,571
	いずみの農協　和泉 定期　（退職準備）	—	正職員の定年退職時の準備金として活用	—	—	36,982,565
	小計					55,607,136
善意銀行積立資産	いずみの農協　和泉 普通（決済用）	—	地域住民からの寄付金により、制度等による整備がなされていない対象者への支援事業に活用（子ども支援は、子どもに関する事業に活用）	—	—	7,812,604
	いずみの農協　和泉　普通 （子ども支援）	—		—	—	707,200
	いずみの農協　和泉 普通　（ウクライナ義援金）	—		—	—	6,344,229
	いずみの農協　和泉 定期	—		—	—	18,042,685
	小計					32,906,718
障がい者基金積立資産	三菱ＵＦＪ銀行　和泉 定期		障がい者の社会参加及び自立促進に寄与する事業・活動及び本会が実施する社会福祉事業に活用			12,926,562
	小計					12,926,562

※次ページへ続く

社会福祉基金積立資産	いずみの農協　和泉 普通（利息用）	—	地域福祉の充実や、地域福祉活動の安定・充実を図る事業に活用	—	—	44,650
	いずみの農協　和泉 定期	—		—	—	29,289,184
	三菱ＵＦＪ銀行　和泉 定期	—		—	—	4,680,168
	紀陽銀行　寺田 定期	—		—	—	10,024,629
	池田泉州銀行　和泉 定期	—		—	—	10,069,897
	りそな銀行　泉大津 定期	—		—	—	10,009,813
	大和ネクスト銀行 定期	—		—	—	10,027,563
	大和証券　大阪府公債	—		—	—	19,848,383
	岡三証券　和歌山県公債	—		—	—	20,000,000
	みずほ証券　グリーン共同債	—		—	—	10,000,000
			小計			123,994,287
災害基金積立資産	いずみの農協　和泉 定期	—	災害時におけるボランティアの支援事業・活動及び本会が実施する社会福祉事業に活用	—	—	13,716,343
			小計			13,716,343
その他の固定資産	スズキキャリー 480 と 5204	—	リサイクル供託金	—	—	6,540
	フィットハイブリッド	—	リサイクル供託金	—	—	10,710
	スズキワゴン	—	リサイクル供託金	—	—	9,310
	アルト　7518	—	リサイクル供託金	—	—	9,180
	アルト　7519	—	リサイクル供託金	—	—	9,180
	アルト　8550	—	リサイクル供託金	—	—	8,840
	アルト　8551	—	リサイクル供託金	—	—	8,840
	アルト　8552	—	リサイクル供託金	—	—	8,840
			小計			71,440
			その他の固定資産合計			377,409,676
			固定資産合計			380,409,676
			資産合計			526,318,114
Ⅱ　負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—		—	—	44,070,493
預り金	ボランティア保険預り金	—		—	—	1,117,494
	受講者預り金	—		—	—	9,600
	諸謝金預り金	—		—	—	165,508
	福祉サービス利用者預り金	—		—	—	1,154,512
	その他預り金	—		—	—	△ 14,235
			小計			2,432,879
職員預り金		—		—	—	2,952,245
職員預り金(総合)	源泉所得税	—		—	—	△ 466,024
	住民税	—		—	—	215,100
	社会保険料	—		—	—	792,556
			小計			541,632
職員預り金(北部)	源泉所得税	—		—	—	315,112
	住民税	—		—	—	496,800
	社会保険料	—		—	—	1,598,701
			小計			2,410,613
拠点区分間預り金		—		—	—	4,430
前受金		—		—	—	9,343
仮受金	一時預かり（職員共済会）	—		—	—	71,224
賞与引当金		—		—	—	25,204,922
未払消費税等		—		—	—	10,765,510
			流動負債合計			85,511,046
2 固定負債						
退職給付引当金	（正職員）退職給付引当金	—		—	—	72,043,329
	（準職員）退職給付引当金	—		—	—	1,470,007
			小計			73,513,336
長期預り金		—		—	—	126,549
福祉サービス利用援助契約特約	その他	—		—	—	126,549
			固定負債合計			73,639,885
			負債合計			159,150,931
			差引純資産			367,167,183

監査報告書

令和８年５月１４日

社 会 福 祉 法 人
和泉市社会福祉協議会
会長　佐藤　正浩　様

監事　居石千里

監事　笠井崇之

私たち監事は、令和７年４月１日から令和８年３月３１日までの令和７年度の理事の職務執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告書等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

２　監査意見

①　事業報告等の監査結果

一　事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

②　計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。